



学校法人 岩手医科大学

令和元(2019)年度

事業報告書



附属病院移転後の矢巾キャンパス



誠のあゆみ、未来へつなぐ

目 次

I 法人の概要

1. 建学の精神	1
2. 法人の沿革	2
3. 設置する学校	3
4. 入学定員数・収容定員数・現員数	3
5. 理事会・評議員会の開催状況	3
6. 役員等の概要	4
7. 諸規程の主な改正等	4
8. 主な事業の概要	7
9. 主な行事等	14
10. 土地の増減	18
11. 建物等の増減	18
12. 取得した主な機器備品等	19
13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等	20

II 人事の概要

1. 主な役職人事	22
2. 主な教職員人事	22
3. 職員総数	22

III 学事の概要

1. 入学者、卒業（修了）者数	23
2. 学位授与者数	23
3. 文部科学省科学研究費助成事業	23
4. 厚生労働科学研究費補助金	27
5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	28
6. その他公的機関受託研究等	29
7. 解剖体慰霊祭および解剖体数	30
8. 白寿会員数	30
9. 海外出張者数	30
10. 国家試験成績	30

IV 附属病院の概要

1. 患者数	31
2. 救急患者取扱件数	31
3. 分娩件数	31
4. アイバンク登録者数	31
5. 手術件数および死亡者数	31

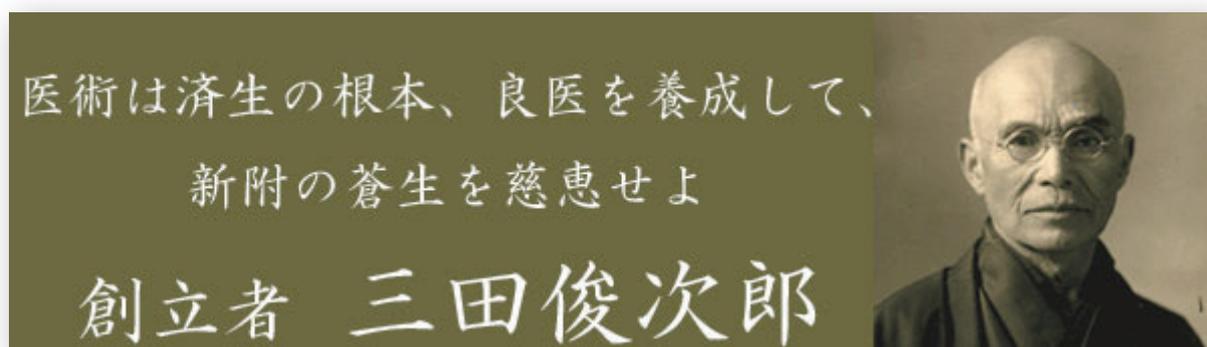
V 財務の概要

1. 事業活動収支	32
2. 資本収支	35
3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策	36
4. 令和元年度事業活動収支計算書	37
5. 令和元年度資金収支計算書	38
6. 貸借対照表	39
7. 医療収入内訳	40
8. 令和元年度事業活動収支構成比率	41
9. 令和元年度教育活動収支構成比率	42
10. 経年比較	43
11. 参考：学校法人会計の特徴について	50

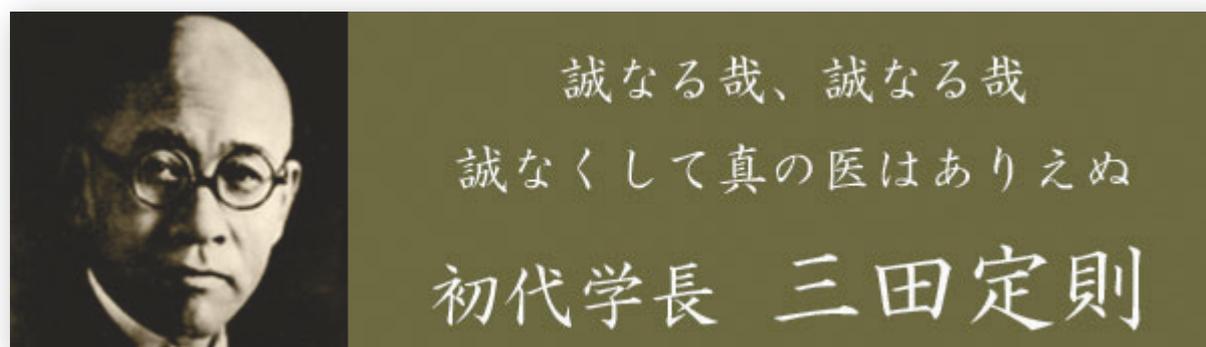
I 法人の概要

1. 建学の精神

本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。【岩手医科大学学則 第1章・第1条】



西欧化の荒波が押し寄せる中、明治新政府の医療施策は定まらず、岩手県では医療機関が長期に亘り途絶える等、県民の医療は困窮を極めていました。これを憂いた三田俊次郎は、私財を投じて私立岩手病院を設立、同時に医師、看護婦、産婆の養成に努めました。自らは勤儉力行に徹する一方、幾多の社会福祉事業、育英事業を興し、生涯を弱者救済と人材育成に捧げました。



俊次郎の限りない人類愛を受け継ぎ、岩手医学専門学校第2代校長となった定則は、戦後の学制改革に際し陣頭指揮を執って大学昇格を果たし、初代学長に就任しました。温厚にして飾らず、誰に対しても敬と愛をもって接した定則は「医師たらんとする者は先ず人間であらねばならぬ」を持論とし、人類の理想に「誠」を掲げました。

俊次郎と定則の精神は、私立学校法改正に伴う学校法人岩手医科大学への組織変更の際し、新制岩手医科大学学則に高らかに謳われ、今日まで脈々と受け継がれています。

2. 法人の沿革

明治30年	私立岩手病院開院 医学講習所・産婆看護婦養成所併設	平成19年	矢巾キャンパス第一次事業竣工 薬学部・共通教育センター開設
明治34年	私立岩手医学校設立認可	平成21年	附属病院に循環器医療センターを開設 (附属循環器医療センターを統合)
大正15年	岩手病院診療棟(現一号館)竣工	平成22年	超高磁場先端MRI研究所竣工 附属PET・リニアック先端医療センター開設
昭和3年	財団法人岩手医学専門学校設立認可	平成23年	矢巾キャンパス第二次事業竣工 医学部・歯学部基礎講座統合
昭和22年	財団法人岩手医科大学に組織変更		共同研究部門を医歯薬総合研究所に改組 歯科技工専門学校・歯科衛生専門学校を統合し、 岩手医科大学医療専門学校へ名称変更
昭和23年	医学部医学科開設	平成24年	附属病院ドクターヘリ基地ヘリポート竣工
昭和26年	学校法人岩手医科大学に組織変更	平成25年	大学院薬学研究科開設 災害時地域医療支援教育センター・ マルチメディア教育研究棟竣工
昭和27年	新制岩手医科大学発足	平成26年	共通教育センターを全学教育推進機構に改組
昭和30年	医学進学課程設置	平成28年	岩手看護短期大学開設 矢巾キャンパスにエネルギーセンター竣工 附属病院にPET・リニアック先端医療センターを開設 (附属PET・リニアック先端医療センターを統合)
昭和35年	大学院医学研究科博士課程開設	平成29年	看護学部開設
昭和40年	歯学部、教養部開設	平成30年	矢巾キャンパスにやはばなかよし保育園竣工
昭和41年	岩手歯科技工士学校開設	平成31年	附属花巻温泉病院閉院
昭和42年	歯学部附属病院開院	令和元年	矢巾キャンパスに新附属病院竣工 法人及び大学の本部を矢巾キャンパスに変更 矢巾キャンパスに附属病院を移転 内丸キャンパスに附属内丸メディカルセンターを開院
昭和47年	記念図書館竣工		
昭和51年	岩手歯科技工士学校を 岩手歯科技工専門学校に名称変更	令和2年	岩手看護短期大学閉学 岩手医科大学医療専門学校歯科技工学科閉科
昭和55年	岩手県と共同で岩手県高次救急センター開設 [現 岩手県高度救命救急センター]		
昭和58年	大学院歯学研究科博士課程開設		
平成2年	サイクロトンセンター開設		
平成5年	附属花巻温泉病院開院		
平成6年	岩手医科大学附属病院に特定機能病院の承認		
平成9年	創立六十周年記念館竣工 附属循環器医療センター開院		
平成12年	超高磁場MRI研究施設竣工 木の花会館竣工		
平成16年	岩手医科大学歯科衛生専門学校開校 岩手歯科技工専門学校を 岩手医科大学歯科技工専門学校に名称変更 大学院医学研究科修士課程開設		
平成17年	附属病院に歯科医療センターを開設 (歯学部附属病院を統合)		

3. 設置する学校

(1) 岩手医科大学	大学院	医学研究科	医学部	医学科
		歯学研究科	歯学部	歯学科
		薬学研究科	薬学部	薬学科
			看護学部	看護学科
(2) 岩手看護短期大学	看護学科		※令和元年度末閉学	
(3) 岩手医科大学医療専門学校	歯科衛生専門課程 (3年制)			
	歯科技工専門課程 (2年制)		※令和元年度末閉科	

4. 入学定員数・收容定員数・現員数 (令和元年5月1日現在)

学校	学部・学科等	入学定員数	收容定員数	現員数
①岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50名	200名	141名
	修士課程	10名	20名	7名
	大学院歯学研究科 博士課程	18名	72名	32名
	大学院薬学研究科 博士課程	3名	12名	12名
	修士課程	3名	6名	1名
	医学部 医学科	123名 編入学7名	766名	801名
	歯学部 歯学科	73名	438名	333名
	薬学部 薬学科	120名	880名	678名
	看護学部 看護学科	90名 編入学5名	370名	278名
②岩手看護短期大学 (令和元年度末閉学)	看護学科	—	—	—
	専攻科 地域看護学専攻	20名	20名	20名
	助産学専攻	15名	15名	15名
③岩手医科大学 医療専門学校	歯科衛生専門課程	40名	120名	99名
	歯科技工専門課程 (令和元年度末閉科)	25名	50名	7名

5. 理事会・評議員会の開催状況

理事会は定例を11回、評議員会は定例を2回、臨時を1回開催しました。

6. 役員等の概要

(1) 役員等の定員数、現員数、氏名等 (令和2年3月31日現在)

① 理事

定員数 : 7人以上13人以内 現員数 : 12人

理事長 小川 彰 (常勤)

理事 祖父江 憲治 (常勤) 小林 誠一郎 (常勤) 酒井 明夫 (常勤)

三田 ひろみ (非常勤) 三田 義之 (非常勤) 高橋 真裕 (非常勤)

佐々木 真理 (常勤) 三浦 廣行 (常勤) 三部 篤 (常勤)

嶋 森 好子 (常勤) 小笠原 邦昭 (常勤)

② 監事

定員数 : 2人以上3人以内 現員数 : 2人

小野寺 勲 (非常勤) 池田 克典 (非常勤)

③ 評議員

定員数 : 27人以上38人以内 現員数 : 29人

小川 彰 祖父江 憲治 後藤 康文 城 茂治

三浦 廣行 佐藤 洋一 齊藤 和好 河嶋 寛

佐々木 真理 小笠原 邦昭 三部 篤 松政 正俊

野田 守 佐塚 泰之 末安 民生 佐藤 悦子

高橋 真 高橋 真裕 三田 ひろみ 三田 義之

小林 誠一郎 酒井 明夫 高橋 耕 嶋 森 好子

伊藤 忠一 菅野 耕毅 菊池 進 藤原 哲郎

二井 將光

(2) 役員等の異動

① 理事

(新任) 佐々木 真理 (寄附行為第7条第1項第5号理事 平成31年4月1日付)

② 評議員

(退任) 佐藤 俊一 (寄附行為第19条第2項第6号評議員 令和2年2月25日付)

7. 諸規程の主な改正等

(1) 岩手医科大学医療専門学校学則の一部改正 (令和元年5月27日改正、令和2年4月1日施行)

岩手医科大学医療専門学校歯科技工専門課程を令和元年度末で閉科することに伴い、同課程の記載を削除すること及び一部文言の整理を趣旨とする一部改正

(2) 寄附行為の一部改正 (令和元年5月27日改正、令和元年7月1日施行)

本法人の主たる事務所の所在地 (大学本部の位置を含む) を「岩手県盛岡市内丸19番1号」から「岩手

県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号」へ変更することを趣旨とする一部改正

(3) 職員就業規則の一部改正（令和元年6月24日改正、令和元年7月1日施行）

岩手県条例の改正に伴い、特別休暇（忌引休暇）の日数を変更することを趣旨とする一部改正

(4) 学長選任規程の一部改正（令和元年7月29日改正、令和元年8月1日施行）

選考委員会委員について、看護学部教授会から選出する委員を追加するとともに、本学の准教授・講師から選出する委員を増員することを趣旨とする一部改正

(5) 岩手医科大学学則の一部改正（令和元年7月29日改正、令和2年4月1日施行）

医学部医学科について、令和3年度までの間、入学定員を126人、編入学定員を4人とすること、また、歯学部歯学科の入学定員を73人、収容定員を438名に変更することを趣旨とする一部改正

(6) 経理規程の一部改正（令和元年7月29日改正、令和元年9月21日施行）

矢巾新附属病院及び附属内丸メディカルセンターの開院に伴う病院組織の改編に伴い、会計単位について所要の改正を行うことを趣旨とする一部改正

(7) 組織規程及び教育職員の定員に関する規程の一部改正（令和元年12月16日改正、令和2年4月1日施行）

①医学部寄附講座に障がい児者医療学講座を設置することを趣旨とする組織規程の一部改正、また、医学部内科学講座の神経内科・老年科分野を、脳神経内科・老年科分野へ名称変更することを趣旨とする組織規程及び教育職員の定員に関する規程の一部改正

②職員、患者及び学生に対する各種迷惑行為、犯罪行為及び防火防災に対処するため、法人全体に跨る組織として総合保安対策室を設置することを趣旨とする組織規程の一部改正

(8) 就業規則の一部改正（令和元年12月16日改正、令和2年4月1日施行）

事務局職員の職位について責任を明確にするために、部長相当のスタッフを調査役から参与、課長級の名称を総括課長に統一、総括課長相当のスタッフを参事とし、課長補佐級を廃止の上、担当課長または主幹と変更して管理職とすること、岩手看護短期大学閉学に伴う関係の職を削除、また、事務局組織の再編に伴い機密の事務を取扱う者を更新することを趣旨とする一部改正

(9) 岩手医科大学附属病院規程の一部改正及び岩手医科大学附属内丸メディカルセンター規程の制定（令和元年12月16日改正・制定、令和元年9月21日施行）

矢巾新附属病院及び附属内丸メディカルセンター開院後の組織機構図に基づく岩手医科大学附属病院規程の一部改正及び岩手医科大学附属内丸メディカルセンター規程の制定

(10) 寄附行為及び寄附行為施行細則の一部改正（令和元年12月16日改正（令和2年2月28日寄附行為変更認可）、令和2年4月1日施行）

私立学校法の一部改正を含む学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う変更を趣旨とする一部改正

(11) 組織規程の一部改正（令和2年2月25日改正、令和2年3月1日施行）

講座内准教授の職務を明示することを趣旨とする一部改正

(12) 大学院学則の一部改正（令和2年2月25日改正、令和2年4月1日施行）

学長を中心とした全学的マネジメント体制の明確化、権限の重複排除及び意思決定の迅速化を図り、学位授与の手続方法、研究科委員会等の運営組織について整理することを趣旨とする一部改正

(13) 職員就業規則等の一部改正（令和2年2月25日改正）

①職員就業規則（令和2年4月1日施行）

勤怠管理システムの一部稼働、半日の休暇取得における勤務時間の明確化、看護業務の2交代勤務の導入等を趣旨とする一部改正

②職員の育児休業等に関する規程（令和2年4月1日施行）

育児短時間勤務の就業時間に係る条文の適正化を趣旨とする一部改正

③臨時職員就業規則（令和2年4月1日施行）

出退勤時のカードリーダー打刻開始に伴う勤怠管理運用の変更を趣旨とする一部改正

④臨時職員に係る年次有給休暇の取扱要領（令和2年4月1日施行）

勤怠管理システムの一部稼働に伴う文言の追加を趣旨とする一部改正

⑤臨床研修歯科医就業規則（令和元年9月21日施行）

附属内丸メディカルセンター規程の制定等に伴う文言の整理を趣旨とする一部改正

(14) 役員報酬等の支給基準の制定（令和2年3月30日制定、令和2年4月1日施行）

令和2年4月1日施行の私立学校法の一部改正に伴う役員報酬等の支給基準の制定及び役員報酬・慰労金支給規程の廃止

(15) 寄附行為及び組織規程の一部改正（令和2年3月30日改正）

①寄附行為（令和2年4月寄附行為変更認可申請）

岩手看護短期大学の閉学及び岩手医科大学医療専門学校歯科技工専門課程の閉科に伴い、寄附行為における両記載を削除することを趣旨とする一部改正

②組織規程（令和2年4月1日施行）

岩手看護短期大学の閉学に伴い、組織規程から岩手看護短期大学及び看護短期大学事務室を削除することを趣旨とする一部改正

(16) 学則の一部改正（令和2年3月30日改正、令和2年4月1日施行）

医学部、歯学部、薬学部の授業科目等の変更を趣旨とする一部改正

8. 主な事業の概要

(1) 矢巾新附属病院開院及び患者搬送計画の実施

令和元年7月1日に矢巾新附属病院の建物引渡しを受け、7月20日に落成式典並びに祝賀会を挙行し、翌21日には一般の方々を対象とした完成見学会を行い、約6,000名の参加がありました。



【附属病院外観】



【落成式典】



【完成見学会】

矢巾新附属病院開院日の9月21日には、114名の入院患者を1人の悪化例もなく、内丸地区から矢巾地区へ無事に搬送を完了しました。患者搬送にあたっては、大学全職員のみならず県内外の各医療機関、岩手県警、消防、自衛隊等、多くの関係機関に協力をいただきました。

連休明けの9月24日には外来診療を開始し、大きな問題もなく、患者を受け入れることができました。また、同時にトクタヴェール、コスモス館（健康プラザ）も稼働を開始し、多くの患者や職員が利用しています。



【患者搬送の様子】



【トクタヴェール】



【コスモス館(健康プラザ)】

(2) 附属内丸メディカルセンター開院及び施設改修工事の実施

令和元年9月21日に矢巾新附属病院と同時に附属内丸メディカルセンターを開院し、9月24日より外来診療を開始しました。附属内丸メディカルセンターの新規開院に伴い必要となる施設整備や職員が効率よく勤務できるよう機能を集約するための施設改修工事を行いました。

◆事業費：434,700,000円

(3) 矢巾キャンパス改修工事の実施

附属病院移転に伴うA敷地の研究スペース及び事務局スペースの確保を行うため、平成31年3月より本部棟から改修工事を開始し、順次ドライラボ、ウェットラボ等の研究室の工事をを行い、12月に完了しました。

◆事業費：529,200,000円

(4) 内丸地区跡地活用計画の検討推進

内丸地区跡地活用の検討に当たり、今年度は、地元町内会・自治会との意見交換会の開催、岐阜大学跡地活用事例視察を行い、将来の跡地活用のあり方について、岩手県、盛岡市、盛岡商工会議所及び本学の事務局による協議を継続して行いました。

(5) 医療系総合大学としての教育改善

本学の理念に基づき、医・歯・薬・看護学部の学部間の垣根を取り払った学部横断型の教育を推進する組織として、平成26年度に全学教育推進機構を設置し、機構の中に教養教育を担う、教養教育センターを設置しています。機構及びセンターでは、多職種連携教育（Interprofessional Education）を推進しており、低学年から高学年まで段階的に多職種連携の意義を理解できる体系的なカリキュラム（1学年：多職種連携のためのアカデミックリテラシー、3学年：チーム医療リテラシー、6学年：3学部合同学生セミナー）を企画・運営しています。教育改善施策の一環として、教育改革・授業改革推進事業、教育施策の検討・立案に必要な情報の一元化・分析を目的とした教学IR（Institutional Research）事業を実施しています。

①医学部（医学部教育の質の向上と卒業時の教育成果達成に向けた対応）

国家試験合格率の向上に向けた対策として、教務委員会が中心となり、中間試験の導入、臨床実習時間の見直し、進級要件の厳格化、卒業試験の適正化、成績優秀者の優遇等の改革を行いました。さらに、学修支援委員会を新たに発足させ、留年生や成績下位学生に対する学修支援を重点的に実施しました。

また、教育の質向上と卒業時の教育成果達成に向け、従来の講義に加え、初年次から段階的に行う症候学・臨床診断学のグループ学修、複数学年での多職種連携教育、CBT対策演習、長期の臨床参加型実習等を実施しました。また、卒業時に達成が求められる様々な能力をコンピテンス・コンピテンシーとして決めました。

②歯学部（歯学部における学生教育の充実と教育力向上対策の実践）

昨年度に引き続き、担当チューターの個別面談等により、学生の学習管理や指導を行いました。低学年では、歯学教育支援システムでの演習や総合試験形式の試験を取り入れ、基礎的な知識定着の確認を行いました。また、高学年では、第6学年において弱点分野克服のための補講等を実施した他、第5学年で第6学年の総合試験を同時受験させ、次年度の国家試験を念頭に置いた学習を促しました。

合わせて、指導教員の教育力・研究力の更なる向上を目指して、年3回教育研修会を実施しました。

③薬学部（薬学部における学修能力向上に向けた取り組み）

臨床に秀でた薬剤師の養成を目標として、カリキュラムの見直しを進めました。具体的には4学部連携によるチーム医療教育の充実に加え、1年次への専門科目の移行、4年次実務基礎実習の大幅な見直し、

6年次での新規科目（臨床薬学総合演習）の開講、更に学外薬剤師の授業参画等による実践的な臨床教育を行う等、より実践的な臨床教育の充実を図りました。また、教員による個別指導対策を継続し、国家試験対策と更なる教育・学修能力の向上を目指し、効果的な教育システムの構築を進めました。

第105回薬剤師国家試験合格率は、新卒及び既卒共に昨年度に比べ大幅に落ち込む結果となりました。このため、今後は成績中位から下位層にかけての手厚い補習授業等を実施し、国家試験合格率を改善するための学修支援を積極的に進めます。

志願者及び入学生確保については、出張講義や高校訪問等による広報活動を実施したことに加え、薬学部のホームページを刷新し、精力的に薬学部の教育及び研究活動について魅力の発信に努めましたが、入学試験志願者の減少に歯止めがかからず、入学者数も昨年度に続き大幅な定員割れとなりました。このため、今後はこれまで以上に中学生、高校生等へ薬学の魅力についての啓発活動を行い、本学薬学部への志願者を増やす取り組みを推進します。

④看護学部（設置計画の着実な履行と教育研究活動の充実）

看護学部開設から3年目を迎えた令和元年度は、文部科学省に申請した設置計画を着実に履行するとともに、医学部、歯学部、薬学部及び附属病院を併設する本学の強みを最大限に活用した教育研究活動の定着と充実を図りました。また、令和元年度からは附属病院をはじめ県内の医療・福祉施設等において本格的な臨地実習を開始しました。臨地実習は、看護実践能力を習得し、かつ看護専門職としての態度や倫理観を養うとともに、チーム医療、高度専門医療、地域医療を実践から学ぶ重要な授業科目であり、実習施設とは、綿密な連携のもと充実した指導体制を築き、学生が効果的に実習することができる環境を整備しました。この他、戦略的な国家試験対策を積極的に展開するとともに、看護学部完成年度以降の教育研究体制等に関する検討を進めています。



看護学部実習の様子

⑤教育改善のための全学的FD・SD推進

平成30年度に引き続き、全学部の新任教員向けFDを実施しました。また、令和元年度からは、幹部教職員向けFD、SDを開催し、全学的教育改善のための研修の充実改善を図りました。

⑥教学IR（Institutional Research：学生情報一元化収集・解析）充実化事業

ファクトブックの作成及び公表、学修支援アンケートの実施解析及び結果公表、ジェネリックスキル測定プログラムの実施・解析及び各学部への情報提供等を実施しました。

（6）「ひらめき☆ときめきサイエンス」による小・中・高校生を対象にした薬学の啓発

令和元年度も補助金が採択されたことにより、8月3日にプログラムを実施し、県内の中学生7名、高校生15名が参加しました。「虫歯と骨粗鬆症のない未来へ！体内の酸性環境を作るイオンポンプの働きを知ろう！」をテーマに、プロトンポンプが様々な生命現象において重要な役割を果たしていることについて、講義と実習を交えながら学びの機会を提供しました。基礎的研究の有用性と興味深さ、その成果を創薬という臨床応用に結びつける面白さを理解し、薬学への関心を高めました。

- (7) マルチメディア教室備付ノートパソコンの計画的更新（5か年計画（平成29年度～令和3年度）、3年目）
矢巾キャンパスマルチメディア教室備付のノートパソコンについて、令和元年度は40台（累計120台）の更新を行いました。今後も、学生定員の変化状況等を踏まえながら、計画に基づいた更新を行います。
- (8) 矢巾キャンパス施設の視聴覚機器の計画的更新（5か年計画（令和元年度～令和5年度）、1年目）
矢巾キャンパス施設の講義室等に設置している視聴覚機器（プロジェクタ、マイク設備、実習用ディスプレイ・カメラ）は、設置から7～10年以上経過し、部品の生産終了等により修理対応ができないことから、5ヶ年の更新計画の下、令和元年度はプロジェクタ9式及びマイク設備9式の更新を行いました。
◆事業費：21,805,200円
- (9) 学生のキャリアビジョンを拡げ、希望する就職を実現するための支援
薬剤師、看護師の多様な活躍フィールドと業務内容について学生の理解を深めるため、キャリアガイダンス及び学内外の講師による業種研究講演会を開催しました。また、就職活動を円滑に進めるための支援として、企業プロフィール冊子を作成し、学生に配布しました。
看護学部では求人掲示コーナーの拡充、キャリアアップに関する講演会を新たに実施し、薬学部卒業生にはキャリア支援事業に係る満足度調査を実施しました。盛岡新卒応援ハローワークのジョブサポーターによる個別面談も継続実施しました。
- (10) 「巖手医学文庫」及び貴重書の整理
本学所蔵の「巖手医学文庫」2,430冊（前年度寄贈された和漢古書380冊含む）の目録を作成し、データベースに登録、公開しました。また、その他の貴重本についても、破損・汚損を防ぐため、専用保存箱（四方帙）に納め、整理・収蔵しました。なお、当初修復を予定した革装丁の貴重本は、想定以上の修復箇所があることが判明したため、次年度以降に順次修復製本を実施することとしました。
- (11) 岩手看護短期大学の国家試験合格率の高位維持に向けた取り組み
保健師・助産師国家試験対策として、習熟度確認テストや国家試験模擬試験、国家試験対策授業、クラス担任を中心とした個別指導、低学力学生への重点的指導を実施しました。また、看護学科の既卒者を含め、国家試験既卒受験者に対し、国家試験模擬試験の実施や個別指導等、既卒者のサポートに努めました。
また、令和2年3月の閉学に向けて、両専攻科の留年生防止に取り組んだ他、学籍簿や機器備品等の移動、施設設備の返却等の手続きを進めました。
- (12) 医療専門学校の入学生確保
進学相談会への参加、各種広報媒体への出稿による広報、本校ホームページの機能及び内容の充実等により受験生の掘り起こしを図りました。高校訪問活動においても県内外80の高校を訪問、オープンキャンパスは8回開催して昨年度を上回る参加者が来校しました。また、平成31年2月に厚生労働大臣の指定を受けた専門実践教育訓練給付制度の活用を促すため、歯科助手向けの広報活動を行い、社会人入学者の増加に努めました。入学者は昨年度と同じ34名を確保しましたが、定員を下回る結果となりました。

(13) 医療専門学校¹の国家試験合格率の高位維持

歯科衛生学科では、1年間を通じた模擬試験の実施、国家試験対策補習講義及び個別補習等によりきめ細やかな対策を行いました。歯科技工学科では、過去問題演習、実技指導等を反復して行い、国家試験に備えました。両学科とも、教員が国家試験直前までマンツーマンで指導し、学生の学力向上に努めました。令和元年度国家試験の結果は、歯科衛生学科は合格率 100%を達成し、歯科技工学科は、令和元年度卒業生 7 名全員が合格しました。

(14) 厚生労働行政推進調査事業費補助金による健康安全・危機管理対策総合研究事業（平成 25 年度～令和 2 年度）

「岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究」

平成 23 年度に東日本大震災被災者健診を受診し、本研究に同意した約 1 万人について毎年調査を継続しており、令和元年度は 5,421 人が健診を受診しました。調査票への回答に基づき、適切な支援に繋げる取り組みを実施しています。令和元年度は災害公営住宅への訪問調査を行い、また、各自治体において除票交付申請により死亡・転出データを取得し、震災後の総括的な解析を開始しました。

(15) 日本医療研究開発機構委託事業 認知症研究開発事業（平成 28 年度～令和 2 年度）

「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」

本研究は、全国 8 地域において約 1 万人を対象に実施されている多施設共同の認知症コホート研究です。令和元年度は、矢巾町の高齢者 951 名を対象に、脳卒中や心血管病の発症及び死亡に関する追跡調査を実施しました。また、ベースライン調査で得られたデータを基に認知症の危険因子・防御因子に関する横断的研究開始に向けた統計解析計画会議を設立しました。

(16) 岩手県委託事業 災害時実践力強化事業

自然災害・大規模事故等の発生により要救助者や避難者が大量に発生した場合に、発生直後から中長期にわたって適切に医療を提供するためには、多機関の密な連携及び災害医療に係る実践力の強化が不可欠です。そこで災害時地域医療支援教育センターでは岩手県からの業務委託を受け、災害医療に携わる人材の育成を目的に、「災害医療コーディネーター養成研修」、「岩手 DMAT 隊員養成研修」等の研修会を計 9 回開催しました。研修を通して、受講者個人のスキルアップだけでなく、関係機関の連携強化にも寄与することができました。



岩手 DMAT 隊員養成研修

(17) 岩手県こころのケアセンター事業

沿岸自治体や医療機関等の関係機関と連携を図り、被災住民や自治体職員への個別支援をはじめ、講演会等の人材育成・普及啓発活動等を中心に活動を行いました。発災から 9 年が経過し被災地のニーズが多様化・個別化する中で、個々に寄り添った対応を意識して事業を展開しました。また、田中復興大臣と大船渡地区合同庁舎で、橋復興副大臣と中央センターで、それぞれ岩手県こころのケアセンターとの意見交換が行われ、被災地のこころのケアの現状や、長期的な活動の重要性について説明しました。

(18) いわてこどもケアセンター運営事業

東日本大震災津波に被災した子供に対するこころのケアを中長期的、安定的に行うため、岩手県から事業委託を受け、拠点施設となる「いわてこどもケアセンター」を矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟 1 階に設置し活動しています。沿岸地域と連携した専門的・継続的なケアに取り組み、令和元年度の延患者数は 4,400 名でした。

(19) 岩手県ドクターヘリ運航事業

令和元年度においては、医療機関や消防機関との連携の下、現場救急 251 件、転院搬送 57 件に対応しました。矢巾新附属病院の開院に伴い、ドクターヘリ基地と救急部門が近接したことにより、搬送動線の明確化と搬送時間の短縮を図り、初期治療の更なる迅速化及び救命率の向上に繋げる体制を整備しました。

(20) 東北メディカル・メガバンク計画

地域住民コホート調査では、詳細 2 次調査を実施し、新型コロナウイルス感染症の予防対策による影響を受けながらも目標 7 千人の協力を達成するとともに、多角的な追跡調査を実施しました。また、健康調査の結果回付、自治体への結果報告等、地域住民の健康維持・増進や被災地域の健康づくり施策を支援しました。バイオバンク構築では、試料・情報の分譲対象を拡大するとともに、バイオバンク連携を推進しました。更に、ゲノム・オミックス解析研究や遺伝情報回付研究を継続し、個別化予防・医療の実現に向けて取り組みました。

(21) 附属病院移転に伴う病院システムの整備

附属病院移転に伴い、矢巾新附属病院と附属内丸メディカルセンターの 2 病院間で患者情報・入力情報等を共有することができる電子カルテシステムを構築するとともに、より効率的なシステム運用に向け、部門システムのリプレース及び新規導入を行いました。

- ◆事業費：①電子カルテシステム 353,903,040 円
- ②部門システム及び関連機器 1,210,497,110 円

(22) 地域医療機関との連携強化

令和元年 7 月 8 日に近隣医師会（盛岡市、岩手西北、紫波郡、花巻市）から 138 名、本学から職員 88 名が参加し、「第 2 回地域医療連携懇談会」を開催しました。附属病院移転に関する情報提供並びに附属病院の体制について様々な意見交換を行いました。

(23) 附属病院移転に係る資金借入

附属病院移転に係る支払資金については、第 2 号基本金引当特定資産を中心とした自己資金および補助金等に加え、市中金融機関から短期借入 85 億円、長期借入 200 億円（返済期間 15 年）の各借入を行いました。短期借入は平成 30 年度に借入れた 40 億円とあわせ 125 億円を返済しました。

(24) クラウドサービスを活用した内丸・矢巾間の情報共有基盤の整備

Web 会議クラウドサービス「Zoom」の活用について、学内周知を図り、内丸・矢巾間のカンファレンスや遠隔会議に多数利用された他、学生への遠隔講義のツールとしても検討を進めました。また、施設予

約等のツールとしてグループウェアクラウドサービス「Desknet's NEO」を活用し、業務の効率化を図りました。

(25) 勤怠管理システムの導入

勤怠管理システムの導入にあたり、各部署とのヒアリングや調整及びシフト作成等の構築を行い、矢巾新附属病院開院時より、全職員を対象とした勤怠打刻の取得を開始しました。また、事務局では令和2年1月より運用を開始し、医療職の一部で試験運用を開始しました。

今後は、看護部への導入を進めるとともに、教員については医師の働き方改革の動向を見据えながら、検討を進めます。

(26) 内丸キャンパス 10号館低層外来棟外壁修繕

内丸キャンパス 10号館は竣工後 48年が経過し、低層外来外装の打診等調査で広範囲の壁タイルの浮き・剥落、庇軒天井内の雨水侵入が確認されたため、外装材等剥落の危険回避のために修繕を行いました。

◆工 期：平成31年3月29日～令和元年10月31日

◆事業費：26,352,000円

(27) 矢巾キャンパス体育館・食堂棟外壁タイル修繕

矢巾キャンパス体育館・食堂棟は、竣工後 11年が経過し、壁タイル面の全面打診調査で壁タイルの浮きや目地シール切れ、壁内雨水侵入による白華が確認されたため、外装材等剥落の危険回避のために修繕を行いました。

◆工 期：平成31年4月1日～令和元年9月30日

◆事業費：15,660,000円

(28) 附属内丸メディカルセンター外来棟4号機寝台用エレベーター制御改修工事

附属内丸メディカルセンター外来棟4号機寝台用エレベーターは、主要部分が旧式の制御装置及び部品で構成されており、今後の維持保全が厳しい状況にあることに加え、段差解消等の要求レベルに応えることができないため、制御装置等の付属設備の改修工事及びかご・扉の意匠工事を行いました。

◆工 期：令和元年10月12日～令和元年10月22日

◆事業費：17,301,600円

(29) 花巻温泉病院職員宿舎等の解体

花巻温泉病院職員宿舎全7棟は、昭和42年から昭和56年にかけて旧厚生省により建設され、平成5年7月、花巻温泉病院の移譲とともに国から譲渡を受けました。

平成31年3月の花巻温泉病院の閉院に伴い、今後使用する見込みがなく、また、経年劣化が著しいことから解体し、跡地を売却しました。

◆工 期：平成31年3月29日～令和元年10月31日

◆事業費：21,407,760円（解体工事費）

9. 主な行事等

【平成 31 年・令和元年】

- 4 月 1 日 全学教育推進機構新任教員対象 FD 講習会（記念館 9 階第 2 講義室）
 新入職員等辞令交付式（歯学部 4 階講堂ほか）
 名誉教授称号授与式（記念館 10 階会議室）
 歯学部学業奨励奨学金表彰【2～5 学年】（内丸・矢巾キャンパス）
- 4 月 5 日 歯学部学業奨励奨学金表彰【6 学年】（内丸キャンパス）
- 4 月 6 日 医療専門学校入学式（歯学部 4 階講堂）（歯科衛生学科 34 名）
 医療専門学校歯科衛生学科父母会総会（歯科衛生学科：歯学部 4 階第 2 講義室）
- 4 月 8 日 高度看護研修センター特定行為教育課程開講式（記念館 10 階会議室）
- 4 月 10 日 岩手医科大学・岩手看護短期大学 合同入学式（岩手県民会館）

【岩手医科大学】

（大学院 医学研究科博士課程 36 名・修士課程 4 名、
 歯学研究科博士課程 15 名、薬学研究科博士課程 4 名）
 （学 部 医学部 121 名、歯学部 50 名、薬学部 48 名、
 看護学部 90 名、医学部編入学生 7 名、歯学部編入学生 3 名）
 父兄会総会（岩手県民会館）

【岩手看護短期大学】

（専攻科地域看護学専攻 20 名、専攻科助産学専攻 15 名）
 岩手看護短期大学後援会（岩手県民会館）

- 4 月 19 日 第 17 回医学教育講演会（記念館 9 階第 2 講義室、本部棟 4 階大会議室）
- 4 月 20 日 医・歯・薬 3 学部合同学生セミナー（矢巾キャンパス）
- 4 月 24 日 第 1 回看護学部 FD ワークショップ（東研究棟 1 階会議室）
- 4 月 27 日 歯学部 FD CBT 問題作成にかかる FD 講習会（歯学部 4 階第 2 講義室他）
- 5 月 14 日 永年勤続者表彰式（歯学部 4 階講堂）（勤続 30 年 14 名、勤続 20 年 29 名）
- 5 月 17 日 薬学部 5 学年白衣授与式（大堀記念講堂）
 高度看護研修センター認定看護師教育課程開講式（記念館 10 階会議室）
- 5 月 25 日 入院患者を対象とした外来コンサート（外来待合ロビー）
- 5 月 26 日 医療専門学校（歯科衛生学科）第 1 回オープンキャンパス
- 6 月 1 日 第 47 回白寿会総会（岩手県産業会館 7 階大ホール）
- 6 月 6 日 第 1 回薬学部教育研修会（矢巾キャンパス東 2・E 講義室）
- 6 月 14 日、17 日 薬学部学業奨励奨学金奨学生表彰式【2～4、6 学年】（矢巾キャンパス）
- 6 月 14 日 父兄懇談会【医学部・歯学部 4～6 学年】（盛岡グランドホテル）
 歯と口の健康週間「ウェルかむ 2019」（歯科医療センター）
- 6 月 16 日 CBRNE 災害対応研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 6 月 20 日 看護学部宣誓式（大堀記念講堂）
- 6 月 20 日～21 日 岩手 DMAT 隊員養成研修（災害時地域医療支援教育センター）



岩手医科大学・岩手看護
短期大学合同入学式

- 6月22日 第82回解剖体慰霊祭（大堀記念講堂）
医療専門学校（歯科衛生学科）第2回オープンキャンパス
- 6月28日 学生支援に関するFD・SD研修会（大堀記念講堂）
- 6月30日 矢巾新附属病院竣工
- 7月2日 体育大会壮行会（矢巾キャンパス体育館）
- 7月6日 父兄懇談会【薬学部4～6学年、看護学部3学年】（大堀記念講堂他）
薬学部卒業研究発表会【6学年】（矢巾キャンパス多目的ラウンジ）
- 7月17日～18日 災害保健医療従事者研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 7月19日 第2回看護学部FDワークショップ（矢巾キャンパスマルチ4-A講義室）
- 7月20日 矢巾新附属病院落成式典・祝賀会
- 7月21日 矢巾新附属病院完成見学会
- 7月23日 第2回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東4-A、4-B実習室）
- 7月27日 医療専門学校（歯科衛生学科）第3回オープンキャンパス
- 7月27日～28日 岩手医科大学オープンキャンパス2019（矢巾キャンパス）
- 7月28日 第1回入院患者搬送総合予行演習
- 7月30日～8月1日 第40回岩手医科大学市民公開講座（大堀記念講堂）
- 8月3日 ひらめき☆ときめきサイエンス（矢巾キャンパス）
- 8月8日 医療専門学校（歯科衛生学科）第4回オープンキャンパス
- 8月19日 薬学部学業奨励奨学金奨学生表彰式【5学年】（矢巾キャンパス）
- 8月20日 教養教育センター高大連携研修会
- 8月24日 大学院歯学研究科前期入学試験
医療専門学校（歯科衛生学科）第5回オープンキャンパス
- 8月27日 歯学部第1回教務委員会・歯学教育委員会合同研修会（歯学部4階第2講義室）
- 8月31日 第2回入院患者搬送総合予行演習
- 9月8日 医療専門学校（歯科衛生学科）第6回オープンキャンパス
- 9月10日 岩手医科大学 秋季卒業式（大堀記念講堂）（薬学部60名）
- 9月21日 矢巾新附属病院、附属内丸メディカルセンター開院
内丸から矢巾への入院患者搬送実施
- 9月24日 第3回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東2-C講義室）
- 9月25日 第13回全学教育推進機構FD・SD講習会（矢巾キャンパス東2-D講義室）
- 9月26日 歯学部第2回教育研修会（歯学部2階基礎第3実習室）
- 10月5日 大学院薬学研究科前期入学試験
医療専門学校（歯科衛生学科）第7回オープンキャンパス
- 10月7日 医療専門学校歯科衛生学科ネームプレート交付式（歯学部4階講堂）
- 10月21日～24日 第7回日本災害医療ロジスティクス研修（災害時地域医療支援教育センター他）
- 10月26日 父兄懇談会【薬学部1～3学年、看護学部1～2学年】（大堀記念講堂他）
医療専門学校推薦入学試験・社会人1期入学試験
- 11月2日 第3回看護学部FDワークショップ（矢巾キャンパスマルチ4-A講義室）
- 11月7日 医学部第4学年白衣授与式（大堀記念講堂）



オープンキャンパス2019

I 法人の概要

- 第 42 回岩手医科大学歯科医療セミナー（創立 60 周年記念館 8 階研修室）
- 11 月 8 日 父兄懇談会【医学部・歯学部 1～3 学年】（盛岡グランドホテル）
- 11 月 9 日 歯学部・薬学部・看護学部推薦入学試験、歯学部（前期）・看護学部編入学試験
- 11 月 11 日 第 52 回動物慰霊祭（大堀記念講堂）
ボイラー安全祈願祭（附属病院エネルギーセンター）
- 11 月 22 日 大学院医学研究科入学試験【第 1 回】
第 15 回全学教育推進機構 FD・SD 講習会（本部棟 4 階大会議室、歯学部 4 階会議室）
- 11 月 23 日 医療専門学校一般 1 期・社会人 2 期入学試験
- 12 月 1 日 災害医療コーディネーター養成研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 12 月 2 日 学友会クラブ活動報告会（大堀記念講堂）
- 12 月 7 日 医療専門学校（歯科衛生学科）第 8 回オープンキャンパス
第 62 回岩手恵眼会総会（大堀記念講堂）
入院患者を対象としたクリスマスコンサート（トクタヴェール 1 階フードコート）
- 12 月 16 日 広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作研修（大船渡保健所）
- 12 月 21 日 医療専門学校一般 2 期・社会人 3 期入学試験
- 12 月 25 日～26 日 高大連携ウィンターセッション（矢巾キャンパス）

【令和 2 年】

- 1 月 6 日 新年祝賀式（附属病院 10 階研修室）
- 1 月 10 日 高度看護研修センター認定看護師教育課程修了式（附属病院 10 階中会議室）
- 1 月 16 日 岩手災害医療支援チームロジスティクス研修（初級編）（災害時地域医療支援教育センター）
- 1 月 17 日 岩手災害医療支援チームロジスティクス研修（岩手 DMAT 編）（災害時地域医療支援教育センター）
- 1 月 22 日 医学部一般一次入学試験
- 1 月 25 日 第 43 回 岩手医科大学歯科医療セミナー（青森県弘前市）
- 1 月 27 日 第 14 回全学教育推進機構 FD・SD 講習会（本部棟 4 階大会議室、記念館 10 階会議室）
- 1 月 31 日～2 月 1 日 医学部一般二次入学試験
- 2 月 4 日～5 日 第 1 回災害医療支援冬季対策研修（安比高原）
- 2 月 7 日 歯学部・薬学部一般前期入学試験、歯学部センター利用前期入学試験
- 2 月 10 日 大学院歯学研究科中期入学試験
看護学部一般前期入学試験
- 2 月 12 日 広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 2 月 14 日 第 15 回附属病院移転跡地活用検討に係る四者事務連絡会（記念館 10 階同窓会室）
- 2 月 18 日 医学部学士編入学一次試験
- 2 月 22 日 大学院医学研究科入学試験【第 2 回】、医療専門学校一般 3 期・社会人 4 期入学試験
アイバンク街頭 PR（盛岡市肴町商店街）
- 2 月 25 日 医学部学士編入学二次試験
- 2 月 26 日 医学部転部入学一次試験
- 2 月 27 日 定年退職教授による最終講義（大堀記念講堂）（増田友之教授）

- 3月 4日 医学部転部入学二次試験
- 3月 7日 大学院薬学研究科後期入学試験
- 3月10日 教養教育センターFD・SD（矢巾キャンパス西 1-A 講義室）
- 3月16日 歯学部・薬学部・看護学部一般後期入学試験、
歯学部（後期）センター利用入学試験・編入学試験
- 3月18日 医療専門学校一般4期・社会人5期入学試験
- 3月19日 歯学部FD 第3回教育研修会（歯学部4階第1講義室）
- 3月28日 大学院歯学研究科後期入学試験
- 3月31日 岩手看護短期大学閉学
岩手医科大学医療専門学校 歯科技工専門課程歯科技工学科閉科
定年退職者等辞令交付式（本部棟4階大会議室）

※新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の拡大に伴い、3月に予定していた岩手医科大学・岩手看護短期大学合同卒業式及び岩手医科大学医療専門学校卒業式は中止しました。
令和元年度卒業（修了）者数は、次のとおりです。

【岩手医科大学】

- 大学院 医学研究科博士課程 2名 修士課程 3名
歯学研究科博士課程 5名
薬学研究科博士課程 2名 修士課程 1名
- 学 部 医学部 110名
歯学部 35名
薬学部 171名（秋季卒業生 60名含む）

【岩手看護短期大学】

- 専攻科 地域看護学専攻 20名
専攻科助産学専攻 14名

【岩手医科大学医療専門学校】

- 歯科技工学科 7名
歯科衛生学科 32名

10. 土地の増減

増 加	1	旧花巻温泉病院薬局土地の取得（買戻し）	129.75 m ²	1,295,000 円
減 少			Δ3,086.84 m ²	Δ31,053,685 円
[内訳]	1	地積更正に伴う面積の減少（前九年三丁目）	Δ0.16 m ²	0 円
	2	旧花巻温泉病院職員宿舎跡地の売却	Δ3,086.68	Δ31,053,685 円

11. 建物等の増減

(1) 建 物

増 加			91,284.00 m ²	22,364,895,147 円
[内訳]	1	附属病院新築工事	85,934.59 m ²	21,467,416,480 円
	2	トクタヴェール新築工事	5,349.41 m ²	897,478,667 円
減 少	1	旧花巻温泉病院職員宿舎解体工事	Δ533.87 m ²	Δ14,834,935 円

(2) 建物附属設備

増 加				20,933,956,930 円
[主な内訳]	1	附属病院新築工事		19,950,816,675 円
	2	トクタヴェール新築工事		655,541,702 円
	3	A敷地改修工事		264,036,265 円
	4	岩手医科大学附属内丸メディカルセンター開設整備工事		32,915,077 円
減 少				Δ71,666,587 円
[主な内訳]	1	撤去済未除却資産の除却		Δ69,244,047 円
	2	なかよし保育園 [※] 一屋根撤去に伴う除却		Δ806,215 円

(3) 構築物

増 加				2,192,166,291 円
[主な内訳]	1	附属病院新築工事（病院本体工事他）		2,022,847,909 円
	2	トクタヴェール新築工事（外構工事（駐車場及び通路）他）		126,818,382 円
	3	A敷地駐車場整備工事		36,972,000 円
減 少				Δ236,171,502 円
[主な内訳]	1	木の花会館立体駐車場取り壊しに係る除却		Δ193,200,000 円
	2	撤去済未除却資産の除却		Δ20,487,576 円
	3	道路拡幅工事に伴う緑地の除却		Δ11,738,883 円

12. 取得した主な機器備品等

(1) 医学部		244,005,486円		
1	次世代シーケンサー-MiSeqシステム他	1式	13	臨床検査情報システム(検体・輸液)
2	印刷機	1式	14	全自動注射払出装置
3	密閉式自動固定包埋装置	1式	15	検体搬送システム
4	超音波画像診断装置	1式	16	循環器用X線透視診断装置
5	陰陽圧飼育ラック	1式	17	仮想化基盤ストレージ拡張
6	SRS Encoderシステム(SRS画像記録システム)	2式	18	高線量率密封小線源治療システム
7	レーザープロジェクター	10式	19	放射線部門PACSハードウェア追加
8	対面式ケージ交換ステーション CS48 ARIA	1式	20	生体情報モニタリングシステム
9	重心動揺計グラビコーダ GW-5000	1式	21	高精度放射線治療計画CT装置
10	2トラック エルフ ドライブ 他	1式	22	診断総合情報システム 脳神経パッケージ
			23	自動採血管準備装置
				他
(2) 歯学部		38,976,682円	(7) 附属病院(歯科)	
1	Straumann CARES p30 スターターセット	1式		66,233,262円
2	歯科用ユニット・EOM-REGARO-CSS	1式	1	歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置
3	音響鼻腔測定器・鼻腔通気度計セット	1式	2	歯科用X線撮影装置
4	ノートパソコン(事業計画更新分)	12式	3	歯科用診療ユニット(可搬式)
5	レーザープロジェクター	3式	4	歯科用診療椅子
	他			他
(3) 薬学部		20,149,747円	(8) 岩手県高度救命救急センター	
1	ノートパソコン(事業計画更新分)	24式		1,276,281,417円
2	超低温フリーザー	2式	1	FD多軌道ロボティックアーム・アンギオ装置
3	研究用高級実体顕微鏡システム	1式	2	AngioCTシステム
4	マルチ皮膚測定器 Multi Display Devices MDD4	1式	3	1.5テスラMRI装置
	他		4	循環器系X線診断装置
			5	救急80列CTシステム
			6	高速液体クロマトグラフ飛行時間型質量分析装置
				他
(4) 看護学部		4,470,950円	(9) 附属内丸メディカルセンター(医科)	
1	ノートパソコン(事業計画更新分)	4式		340,837,382円
2	万能型看護実習モデル“八重”	2式	1	眼科システム
	他		2	手術用顕微鏡
			3	白内障・硝子体手術装置
			4	超音波画像診断装置
			5	超広角走査レーザー検眼鏡
				他
(5) 教養教育センター		3,387,488円	(10) 附属内丸メディカルセンター(歯科)	
1	純水製造装置 Elix Essential UV5	1式		20,558,450円
	他		1	Kavo OP3DビジョンV17
				他
(6) 附属病院(医科)		9,287,830,457円	(11) 医療専門学校	
1	高精度放射線治療システム	2式		221,616円
2	電子カルテ・医事システム機器増設	1式	1	ノートパソコン
3	320列エアディテクターCTスキャナシステム	1式		2式
4	X線CT組合せ型ポジトロンCT装置	1式	(12) 法人	
5	3テスラMRI装置	1式		28,234,452円
6	血管造影X線診断装置	1式	1	複合機
7	手術室映像記録配信システム	1式		他
8	電子カルテ用端末 800台他	1式		
9	128マルチスライスCT装置	1式		
10	ナビゲーションシステム(脳神経外科)バージョンアップ	1式		
11	X線CT組合せ型SPECT装置	1式		
12	麻酔記録システム(手術・重症部門支援システム)	1式		

総額11,331,187,389円の機器備品等を取得しました。

13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等

(単位:円)

(1) 私立大学経常費補助金	1,780,250,000
1 私立大学等経常費補助金(日本私立学校振興・共済事業団)	1,780,250,000
(2) その他の国庫補助金	654,850,000
1 医療研究開発推進事業費補助金(日本医療研究開発機構(AMED))	529,750,000
2 臨床研修費等補助金(医師)(厚生労働省)	33,410,000
3 臨床研修費等補助金(歯科医師)(厚生労働省)	28,450,000
4 企業主導型保育事業費補助金(内閣府)	63,240,000
(3) 地方公共団体補助金	971,920,000
1 高度救命救急センター運営費補助金(岩手県)	256,190,000
2 岩手県ドクターヘリ運航事業補助金(岩手県)	249,130,000
3 医学部地域枠に係る教育研究費(岩手県)	225,000,000
4 周産期母子医療センター運営事業費補助金(岩手県)	82,940,000
5 医療局医学教育研究助成金(岩手県)	60,000,000
6 がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金(岩手県)	20,100,000
7 地域医療研究費補助金(岩手県)	20,000,000
8 自殺対策強化事業費補助金(岩手県)	10,970,000
9 災害医療人材育成緊急強化事業費補助金(岩手県)	5,000,000
10 認定看護師育成支援事業費補助金(岩手県)	3,500,000
11 院内保育所運営事業費補助金(岩手県)	3,240,000
12 私立専修学校運営費補助金(岩手県)	2,290,000
13 産科医等確保支援事業補助金(岩手県)	2,050,000
14 新人看護職員研修事業費補助金(岩手県)	1,890,000
15 女性医師就労環境改善事業補助金(岩手県)	1,780,000
16 周産期電子カルテ運用事業費補助金(岩手県)	1,460,000
17 認定看護師養成研修事業費補助金(岩手県)	1,270,000
18 新生児医療担当医師確保支援事業費補助金(岩手県)	810,000
19 私立学校被災児童生徒等就学支援事業補助金(岩手県)	500,000
20 防災訓練等参加支援事業費補助金(岩手県)	440,000
21 病院群輪番制病院運営費補助金(盛岡市)	6,980,000
22 小児救急医療支援事業補助金(盛岡市)	6,010,000
23 公的病院等運営事業補助金(盛岡市)	8,110,000
24 小児救急医療受入体制整備事業補助金(盛岡市)	2,210,000
25 公開講座運営費補助金(矢巾町)	50,000

(4) 受託事業収入（公的機関受託収入）	604,340,000
1 看護師の特定行為研修における指定研修機関の運営に関するデータ収集事業委託費(厚生労働省)	3,110,000
2 岩手県こころのケアセンター等設置運営業務委託費(岩手県)	387,860,000
3 いわてこどもケアセンター等設置運営業務委託費(岩手県)	92,120,000
4 精神科救急医療施設常時対応施設事業委託費(岩手県)	16,700,000
5 精神科救急医療施設(身体合併対応施設事業)委託費(岩手県)	12,760,000
6 子どもの心の診療ネットワーク事業委託費(岩手県)	12,610,000
7 岩手県重症難病患者入院施設連絡協議会設置事業委託費(岩手県)	12,000,000
8 岩手県周産期救急搬送コーディネータ事業委託費(岩手県)	10,370,000
9 岩手県地域医療支援センター業務委託費(岩手県)	10,220,000
10 岩手県肝疾患相談センター運営事業委託費(岩手県)	8,010,000
11 岩手県基幹型認知症疾患医療センター運営事業委託費(岩手県)	7,370,000
12 岩手県心身障がい者(児)歯科診療事業委託費(岩手県)	7,220,000
13 不妊専門相談センター事業委託費(岩手県)	5,940,000
14 災害時実践力強化事業委託費(岩手県)	5,610,000
15 小児救急医療遠隔支援システム運営業務委託費(岩手県)	4,480,000
16 若年性認知症支援コーディネータ事業委託費(岩手県)	3,030,000
17 岩手県予防接種センター機能推進事業委託費(岩手県)	2,050,000
18 周産期医療関係者病院内妊産婦救急対応研修事業委託費(岩手県)	1,130,000
19 エイズ診療に係る医療・介護従事者等研修事業委託費(岩手県)	460,000
20 岩手県在宅重症難病患者一時入院事業委託費(岩手県)	420,000
21 周産期医療関係者母体救命対応研修事業委託費(岩手県)	400,000
22 エイズ治療中核拠点病院カウンセラー設置事業委託費(岩手県)	230,000
23 先天性代謝異常等検査事業相談業務委託費(岩手県)	210,000
24 一時保護を要する児童の医療機関への一時保護委託費(岩手県)	30,000
(5) 施設設備補助金	1,162,480,000
1 高度救命救急医療等提供拠点整備費補助金(岩手県)	1,018,750,000
2 救急センター特殊災害医療体制等整備費補助金(岩手県)	57,820,000
3 岩手県高度救命救急センター設備整備費補助金(岩手県)	50,000,000
4 小児医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	13,330,000
5 ドクターヘリ設備整備費補助金(岩手県)	9,610,000
6 周産期医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	9,490,000
7 実践的手術手技向上研修実施機関設備整備費補助金(岩手県)	2,380,000
8 岩手県高度救命救急センター施設設備整備事業補助金(岩手県)	1,100,000

II 人事の概要

1. 主な役職人事

新任

医学部長	佐々木 真 理 (平成31年4月1日付)
図書館長	石崎 明一 (平成31年4月1日付)
医歯薬総合研究所長	平 英一 (平成31年4月1日付)
キャリア支援センター長	中西 真弓 (平成31年4月1日付)
リエゾンセンター長	吉岡 邦浩 (平成31年4月1日付)
医学部副学部長	滝川 康裕 (平成31年4月1日付)
医学部副学部長・図書館副館長	古山 直道 (平成31年4月1日付)
学生副部長	西谷 和一 (平成31年4月1日付)
薬学部附属薬用植物園副園長	河野 富一 (平成31年4月1日付)
附属内丸メディカルセンター長	下沖 収 (令和元年9月21日付)
附属内丸メディカルセンター副センター長	西島 嗣生 (令和元年9月21日付)
附属内丸メディカルセンター副センター長 (歯科担当)	佐藤 和朗 (令和元年9月21日付)

再任

副学長 (歯学部改革担当)・歯学部長・岩手医科大学医療専門学校長	三浦 廣行 (平成31年4月1日付)
全学教育推進機構長	佐藤 洋一 (平成31年4月1日付)
附属病院長	小笠原 邦昭 (平成31年4月1日付)
総合情報センター長	小山 耕太郎 (平成31年4月1日付)
学生部長	増田 友之 (平成31年4月1日付)
健康管理センター長	石垣 泰勲 (平成31年4月1日付)
薬学部附属薬用植物園園長	藤井 勲 (平成31年4月1日付)
いわて東北メディカル・メガバンク機構長	佐々木 真理 (平成31年4月1日付)
岩手県高度救命救急センター長	井上 義博 (平成31年4月1日付)
PET・リニアック先端医療センター長	中村 隆二 (平成31年4月1日付)
総合情報センター副センター長	田中 良一 (平成31年4月1日付)
学生副部長	小中原 航理 (平成31年4月1日付)
学生副部長	中島 理浩 (平成31年4月1日付)
附属病院副院長	森野 禎浩 (平成31年4月1日付)
附属病院副院長	鈴木 健二 (平成31年4月1日付)
附属病院副院長	黒坂 大次郎 (平成31年4月1日付)
附属病院副院長	土井 稔 (平成31年4月1日付)
附属病院副院長	肥田 圭介 (平成31年4月1日付)
附属病院副院長	井上 義博 (平成31年4月1日付)

退任

副学長	小林 誠一郎 (令和2年3月31日付)
-----	---------------------

2. 主な教職員人事

昇任・任用

衛生学公衆衛生学講座	特任教授	丹野 高 三 (平成31年4月1日付)
医学教育学講座医学教育学分野	教授	伊藤 克巳 (平成31年4月1日付)
医学部内科学講座血液腫瘍内科分野	教授	前田 薫樹 (平成31年4月1日付)
医学部内科学講座神経内科・老年科分野	教授	肥田 哲也 (平成31年4月1日付)
医学部医療安全学講座	教授	吉岡 圭介 (平成31年4月1日付)
医学部放射線医学講座	教授	白石 邦浩 (平成31年4月1日付)
薬学部生物薬学講座生体防御学分野	特任教授	松浦 博久 (平成31年4月1日付)
薬学部臨床薬学講座地域医療薬学分野	特任教授	佐藤 誠 (平成31年4月1日付)
岩手看護短期大学	教授	藤原 佳乃子 (平成31年4月1日付)
解剖学講座機能形態学分野	教授	藤村 尚樹 (令和元年5月1日付)
医学部整形外科講座	特任教授	村上 秀樹 (令和元年5月1日付)
医学部臨床腫瘍学講座	教授	板持 広明 (令和元年5月1日付)
医学部睡眠医療学科	特任教授	西島 嗣生 (令和元年5月1日付)
薬学部医療薬科学講座衛生化学分野	教授	杉山 晶規 (令和元年5月1日付)
歯学部補綴・インプラント学講座摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野	教授	小清 林 琢也 (令和元年6月1日付)
医歯薬総合研究所生体情報解析部門	教授	清水 厚志 (令和2年3月31日付)

退職

医学部産婦人科学講座	特任教授	熊谷 仁 (平成31年4月30日付)
医学部形成外科学講座	教授	増田 克彦 (令和元年10月4日付)
病理学講座機能形態学分野	教授	野出 友之 (令和2年3月31日付)
法科学講座法医学分野	教授	厚羽 二子 (令和2年3月31日付)
看護学部地域包括ケア講座	教授	野村 陽子 (令和2年3月31日付)
岩手看護短期大学	教授	鈴木 るり子 (令和2年3月31日付)
岩手看護短期大学	教授	橋本 扶美子 (令和2年3月31日付)
岩手看護短期大学	教授	佐藤 佳乃子 (令和2年3月31日付)

3. 職員総数

職員総数は、年度当初2,970名、年度間の採用者数は224名（内4月1日付採用者212名）、退職者数は274名でした。

Ⅲ 学事の概要

1. 入学者、卒業（修了）者数

学 校	学部・学科等	入学定員	入学者※1	卒業（修了）者	学生数※2
岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50名	36名	2名	141名
	大学院医学研究科 修士課程	10名	4名	3名	7名
	大学院歯学研究科 博士課程	18名	15名	5名	32名
	大学院薬学研究科 博士課程	3名	4名	2名	12名
	大学院薬学研究科 修士課程	3名	0名	1名	1名
	医学部	123名 ※3	121名	110名	801名
	歯学部	73名	50名	35名	333名
	薬学部	120名	48名	171名 ※5	678名
岩手看護短期大学 (令和元年度未閉学)	看護学科	60名	—	—	—
	専攻科地域看護学専攻	20名	20名	20名	20名
	専攻科助産学専攻	15名	15名	14名	15名
医療専門学校	歯科衛生学科	40名	34名	32名	99名
	歯科技工学科 (令和元年度未閉科)	25名	—	7名	7名

※1 第1学年入学者

※2 令和元年5月1日現在

※3 第3学年への学士編入学定員（7名）は含めない。

※4 第3学年への学士編入学定員（5名）は含めない。

※5 秋季卒業生（60名）を含む。

2. 学位授与者数

大学院研究科	博士課程修了者 (甲)	論文提出者 (乙)	修士課程修了者
医学研究科	36名	5名	3名
歯学研究科	5名	2名	
薬学研究科	2名	—	1名

3. 文部科学省科学研究費助成事業

215件

241,060,630円

(1) 科学研究費補助金（代表）

①基盤研究 (B)	6件	15,080,000円
石崎 明 (生化学講座細胞情報科学分野 (歯))		3,445,000円
藤井 勲 (薬学部 薬科学講座天然物化学分野)		3,510,000円
人見 次郎 (解剖学講座人体発生学分野 (医))		520,000円
佐々木 真理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)		3,380,000円
原田 英光 (解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))		2,470,000円
八木 淳子 (医学部 神経精神科学講座)		1,755,000円
②研究成果公開促進費 (研究成果公開発表 (B))	1件	490,000円
中西 真弓 (薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)		490,000円
③奨励研究	1件	530,000円
山田 友紀 (附属病院 中央臨床検査部)		530,000円

(2) 科学研究費補助金（学外分担）

①新学術領域研究(研究領域提案型)『学術研究支援基盤形成』	1件	2,665,000円
清水 厚志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		2,665,000円

Ⅲ 学事の概要

②基盤研究 (A)	5件	14,436,500円
小松 恵 (看護学部 共通基盤看護学講座)		214,500円
江尻 正一 (教養教育センター 情報科学科数学分野)		130,000円
志賀 清人 (医学部 頭頸部外科学科)		130,000円
坂田 清美 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		52,000円
大桃 秀樹 (いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)		13,910,000円

③基盤研究 (B)	16件	4,310,048円
田邊 憲昌 (歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)		39,000円
佐々木 真理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)		65,000円
大津 圭史 (解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))		260,000円
秋山 智弥 (看護学部 共通基盤看護学講座)		455,000円
八木 淳子 (医学部 神経精神科学講座)		520,000円
藤原 俊朗 (医学部 脳神経外科学講座)		130,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		130,000円
阪本 泰光 (薬学部 薬科学講座構造生物薬学分野)		260,000円
川井 忠 (歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)		130,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		501,048円
齊藤 元 (医学部 呼吸器外科学講座)		130,000円
玉田 泰嗣 (歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)		130,000円
八木 淳子 (医学部 神経精神科学講座)		650,000円
島崎 伸子 (歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)		390,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		260,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		260,000円

(3) 学術研究助成基金助成金 (代表)

①基盤研究 (C)	110件	140,491,000円
鬼原 英道 (歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)		1,170,000円
帖佐 直幸 (生化学講座細胞情報科学分野 (歯))		1,170,000円
伊藤 智範 (医学教育学講座地域医療学分野 (医))		650,000円
村上 秀樹 (医学部 整形外科学講座)		650,000円
柳谷 千枝子 (教養教育センター 外国語学科英語分野)		910,000円
中牟田 祥子 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		780,000円
工藤 賢三 (薬学部 臨床薬学講座臨床薬剤学分野)		650,000円
村嶋 亜紀 (解剖学講座人体発生学分野 (医))		1,690,000円
木村 英二 (解剖学講座人体発生学分野 (医))		1,300,000円
齋野 朝幸 (解剖学講座細胞生物学分野 (医))		1,300,000円
古山 和道 (生化学講座分子医化学分野 (医))		1,690,000円
長谷川 豊 (医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)		260,000円
菅井 有 (医学部 病理診断学講座)		1,430,000円
塩井 義裕 (医学部 外科学講座)		130,000円
中村 昌太郎 (医学部 内科学講座消化器内科消化管分野)		390,000円
前沢 千早 (医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)		1,300,000円
山口 哲 (医学部 放射線医学講座)		390,000円
丹野 高三 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		1,170,000円
鈴木 啓二郎 (医学部 臨床検査医学講座)		650,000円
高宮 正隆 (法科学講座法医学分野 (医))		390,000円
田中文 隆 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		910,000円
小笠原 正人 (薬理学講座病態制御学分野 (歯))		585,000円
金子 桐子 (生化学講座分子医化学分野 (医))		1,300,000円
福本 健太郎 (医学部 神経精神科学講座)		1,300,000円
寺崎 一典 (医歯薬総合研究所 高エネルギー医学研究部門)		910,000円
佐藤 英一 (教養教育センター 物理学科)		780,000円
原田 聡 (医学部 放射線医学講座)		780,000円
岩谷 岳 (医学部 外科学講座)		1,430,000円
秋山 有史 (医学部 外科学講座)		1,430,000円
片桐 弘勝 (医学部 外科学講座)		1,040,000円
高原 武志 (医学部 外科学講座)		650,000円
平海 晴一 (医学部 耳鼻咽喉科学講座)		1,430,000円

黒坂大次郎	(医学部 眼科学講座)	910,000円
別府高明	(医学部 脳神経外科学講座)	1,040,000円
佐々木実	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	1,430,000円
藤原尚樹	(解剖学講座機能形態学分野 (歯))	1,170,000円
鍵谷忠慶	(解剖学講座機能形態学分野 (歯))	520,000円
武本真治	(医療工学講座 (歯))	1,560,000円
加茂政晴	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	1,300,000円
久保田美子	(生化学講座分子医化学分野 (医))	910,000円
真柳平	(医歯薬総合研究所 神経科学研究部門)	1,560,000円
關谷瑞樹	(薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)	1,560,000円
中西真弓	(薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)	1,300,000円
高橋巖	(薬学部 病態薬理学講座臨床医化学分野)	1,365,000円
柴崎晶彦	(医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)	910,000円
上杉憲幸	(医学部 病理診断学講座)	1,560,000円
西谷直之	(薬学部 臨床薬学講座情報薬科学分野)	1,430,000円
事崎由佳	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 臨床研究・疫学研究部門)	390,000円
吉岡邦浩	(医学部 放射線医学講座)	520,000円
赤坂真奈美	(医学部 小児科学講座)	910,000円
柿坂啓介	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	1,950,000円
吉野直人	(微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))	1,690,000円
石垣泰	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	1,170,000円
石田和茂	(医学部 外科学講座)	1,560,000円
菅原淳	(医学部 脳神経外科学講座)	910,000円
吉田研二	(医学部 脳神経外科学講座)	1,690,000円
小笠原邦昭	(医学部 脳神経外科学講座)	1,560,000円
馬場長	(医学部 産婦人科学講座)	325,000円
大津圭史	(解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))	1,170,000円
下山佑	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	845,000円
菊池和子	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	1,300,000円
田邊憲昌	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,430,000円
佐原資謹	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	650,000円
森川和政	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	455,000円
岸光男	(歯学部 口腔医学講座予防歯科学分野)	910,000円
木村祐輔	(医学部 緩和医療学科)	1,170,000円
坪田恵	(衛生学公衆衛生学講座 (医))	910,000円
野村陽子	(看護学部 地域包括ケア講座)	338,000円
末安民生	(看護学部 地域包括ケア講座)	1,040,000円
三宅美智	(看護学部 地域包括ケア講座)	650,000円
蛸崎奈津子	(看護学部 成育看護学講座)	910,000円
旭浩一	(医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	1,040,000円
田村理	(薬学部 薬科学講座創薬有機化学分野)	1,300,000円
後藤奈緒美	(薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)	2,210,000円
阿久津仁美	(解剖学講座細胞生物学分野 (医))	2,080,000円
松尾泰佑	(薬学部 医療薬科学講座創剤学分野)	1,690,000円
幅野涉	(薬学部 医療薬科学講座薬物代謝動態学分野)	1,300,000円
東尾浩典	(教養教育センター 化学科)	1,430,000円
鈴木喜郎	(生理学講座統合生理学分野 (医))	1,690,000円
及川浩樹	(病理学講座機能病態学分野 (医))	1,560,000円
王挺	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	1,950,000円
山下雅大	(医学部 内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野)	2,080,000円
前田哲也	(医学部 内科学講座神経内科・老年科分野)	780,000円
有賀久哲	(医学部 放射線腫瘍学)	910,000円
田村明生	(医学部 放射線医学講座)	1,690,000円
藤原俊朗	(医学部 脳神経外科学講座)	2,600,000円
黒田英克	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	2,080,000円
滝川康裕	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	2,340,000円
佐藤衛	(医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	1,300,000円
森野禎浩	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	2,470,000円
前門戸任	(医学部 内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野)	1,040,000円

Ⅲ 学事の概要

古和田 周 吾	(医学部 内科学講座血液腫瘍内科分野)	1,300,000円
齊 藤 元	(医学部 呼吸器外科学講座)	780,000円
肥 田 圭 介	(医学部 医療安全学講座)	1,430,000円
遠 藤 史 隆	(医学部 外科学講座)	1,560,000円
上 野 育 子	(医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)	2,080,000円
千 田 光 平	(医学部 脳神経外科学講座)	2,210,000円
板 持 広 明	(医学部 臨床腫瘍学講座)	2,080,000円
入 江 太 朗	(病理学講座病態解析学分野 (歯))	1,170,000円
小守林 靖 一	(医学部 岩手県高度救命救急センター)	910,000円
小 林 琢 也	(歯学部 補綴・インプラント学講座摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野)	2,730,000円
玉 田 泰 嗣	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	2,600,000円
毛 塚 雄 一 郎	(薬学部 薬科学講座構造生物薬学分野)	1,300,000円
一ノ渡 学	(看護学部 看護専門基礎講座)	1,560,000円
大間々 真 一	(医学部 岩手県高度救命救急センター)	1,690,000円
遠 藤 太	(看護学部 地域包括ケア講座)	728,000円
鈴 木 享	(生理学講座統合生理学分野 (医))	2,080,000円
牛 島 弘 雅	(薬学部 薬科学講座分析化学分野)	1,430,000円
斉 藤 麻 希	(薬学部 病態薬理学講座分子細胞薬理学分野)	2,080,000円
馬 場 誠 朗	(医学部 外科学講座)	3,640,000円
②挑戦的研究 (萌芽)		3件 7,930,000円
人 見 次 郎	(解剖学講座人体発生学分野 (医))	2,080,000円
奈良場 博 昭	(薬学部 臨床薬学講座薬学教育学分野)	2,340,000円
志 賀 清 人	(医学部 頭頸部外科学科)	3,510,000円
③若手研究 (B)		6件 4,680,000円
吉 田 雄 一	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	260,000円
長 島 広 相	(医学部 内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野)	520,000円
手 塚 優	(薬学部 病態薬理学講座薬剤治療学分野)	1,300,000円
石 河 太 知	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	1,040,000円
高 木 英 誠	(医学部 放射線医学講座)	130,000円
田 鎖 愛 理	(衛生学公衆衛生学講座 (医))	1,430,000円
④若手研究		30件 40,665,923円
吉 田 潤	(教養教育センター 化学科)	1,170,000円
小 卷 翔 平	(いわて東北メディカル・メガバンク 機構生体情報解析部門)	2,730,000円
永 塚 真	(医学部 病理診断学講座)	390,000円
杉 本 亮	(医学部 病理診断学講座)	1,300,000円
佐 藤 慧	(医学部 外科学講座)	2,080,000円
及 川 公 樹	(医学部 脳神経外科学講座)	1,430,000円
三 上 貴 浩	(解剖学講座人体発生学分野 (医))	910,000円
山 下 典 生	(医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)	520,000円
鈴 木 悠 地	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	1,690,000円
南 波 孝 昌	(医学部 脳神経外科学講座)	780,000円
加 藤 陽 一 郎	(医学部 泌尿器科学講座)	650,000円
深 川 安 寿 子	(医学部 産婦人科学講座)	1,690,000円
齋 藤 大 嗣	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,690,000円
野 里 同	(看護学部 共通基盤看護学講座)	910,000円
西 村 行 秀	(医学部 リハビリテーション医学科)	260,000円
阿 部 博 和	(教養教育センター 生物学科)	1,690,000円
高 橋 宏 彰	(薬学部 臨床薬学講座臨床薬剤学分野)	2,210,000円
横 山 拓 矢	(解剖学講座細胞生物学分野 (医))	1,950,000円
藤 田 融	(薬学部 生物薬学講座神経科学分野)	1,820,000円
家 子 義 朗	(医学部 放射線腫瘍学科)	105,923円
宮 澤 晴 奈	(医学部 内科学講座神経内科・老年科分野)	1,560,000円
佐 浦 宏 明	(医学部 脳神経外科学講座)	1,690,000円
角 田 加 奈 子	(医学部 皮膚科学講座)	1,820,000円
加 藤 廉 平	(医学部 泌尿器科学講座)	910,000円
及 川 か お り	(医学部 耳鼻咽喉科学講座)	2,990,000円

中里 茉那美	(歯学部 歯科保存学講座歯周療法学分野)	2,080,000円
太田 麻衣子	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野)	910,000円
小松 祐子	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,040,000円
横田 聖司	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	1,040,000円
佐藤 俊郎	(歯学部 口腔医学講座予防歯科学分野)	650,000円

⑤研究活動スタート支援	3件	3,770,000円
村上 暁子	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)	1,170,000円
開 勇 人	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	1,430,000円
池崎 晶二郎	(解剖学講座発生物・再生医学分野 (歯))	1,170,000円

(4) 学術研究助成基金助成金 (学外分担)

①基盤研究 (C)	27件	4,283,159円
大塚 耕太郎	(医学部 神経精神科学講座)	130,000円
三又 義訓	(医学部 整形外科学講座)	130,000円
石崎 明	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	130,000円
帖佐 直幸	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	130,000円
川井 忠	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	65,000円
藤田 友嗣	(医学部 救急・災害・総合医学講座救急医学分野)	195,000円
山下 典生	(医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)	130,000円
毛塚 雄一郎	(薬学部 薬科学講座構造生物薬学分野)	130,000円
石崎 明	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	65,000円
弘瀬 雅教	(薬学部 病態薬理学講座分子細胞薬理学分野)	520,000円
馬場 長	(医学部 産婦人科学講座)	130,000円
原田 英光	(解剖学講座発生物・再生医学分野 (歯))	130,000円
入江 太朗	(病理学講座病態解析学分野 (歯))	130,000円
西谷 直之	(薬学部 臨床薬学講座情報薬科学分野)	260,000円
松政 正俊	(教養教育センター 生物学科)	260,000円
佐々木 実	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	39,000円
下山 佑	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	39,000円
下山 佑	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	39,000円
佐々木 実	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	39,000円
森川 和政	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	65,000円
黒瀬 雅之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	52,000円
原田 英光	(解剖学講座発生物・再生医学分野 (歯))	65,000円
黒瀬 雅之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	175,159円
須藤 洋一	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	260,000円
琵琶坂 仁	(法科学講座法医学分野 (医))	455,000円
三宅 美智	(看護学部 地域包括ケア講座)	195,000円
西村 行秀	(医学部 リハビリテーション医学科)	325,000円

②挑戦的研究 (萌芽)	5件	1,599,000円
森 太志	(医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)	624,000円
斉藤 麻希	(薬学部 病態薬理学講座分子細胞薬理学分野)	130,000円
遠藤 寿一	(教養教育センター 人間科学科哲学分野)	520,000円
馬場 長	(医学部 産婦人科学講座)	130,000円
黒瀬 雅之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	195,000円

③国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	1件	130,000円
小田切 崇	(微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))	130,000円

4. 厚生労働科学研究費補助金 **17件 103,982,000円**

(1) 行政推進調査事業費補助金 (代表)

①健康安全・危機管理対策総合研究事業		
小林 誠一郎 (副学長)		82,632,000円

Ⅲ 学事の概要

(2) 行政推進調査事業費補助金 (分担)		
①肝炎等克服政策研究事業		
滝川 康裕 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		500,000円
②腎疾患政策研究事業		
旭 浩一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		500,000円
(3) 科学研究費補助金 (代表)		
①地域医療基盤開発推進研究事業		
嶋森 好子 (看護学部 共通基盤看護学講座)		2,700,000円
(4) 科学研究費補助金 (分担)		
①難治性疾患等政策研究事業		
松本 主之 (医学部 内科学講座消化器内科消化管分野)		500,000円
石垣 泰 (医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)		200,000円
佐藤 宏昭 (医学部 耳鼻咽喉科学講座)		500,000円
旭 浩一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		350,000円
佐々木 真理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)		700,000円
佐々木 真理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)		200,000円
古山 和道 (生化学講座 分子医化学分野 (医))		400,000円
②腎疾患政策研究事業		
旭 浩一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		900,000円
③肝炎等克服政策研究事業		
宮坂 昭生 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		1,000,000円
④エイズ対策政策研究事業		
吉野 直人 (微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))		8,850,000円
⑤循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業		
坂田 清美 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		1,600,000円
⑥障害者政策総合研究事業		
大塚 耕太郎 (医学部 神経精神科学講座)		1,950,000円
(5) 労災疾病臨床研究事業費補助金 (分担)		
佐藤 宏昭 (医学部 耳鼻咽喉科学講座)		500,000円

5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 26件 60,030,157円

(1) 委託事業 (分担)		
①ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業先端ゲノム研究開発		
佐々木 真理 (いわて東北メディカル・メガバンク機構)		7,250,000円
②戦略的国際脳科学研究推進プログラム		
佐々木 真理 (いわて東北メディカル・メガバンク機構)		5,200,000円
③難治性疾患実用化研究事業		
佐々木 真理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)		390,000円
④臨床研究・治験推進研究事業		
佐々木 真理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)		3,999,999円
高橋 史朗 (教養教育センター情報科学科医用工学分野)		858,000円
⑤感染症実用化研究事業		
高橋 史朗 (教養教育センター情報科学科医用工学分野)		195,000円
⑥感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 (肝炎等克服緊急対策研究事業)		
滝川 康裕 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		1,170,000円
滝川 康裕 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		910,000円

⑦循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業		
小笠原 邦 昭 (医学部 脳神経外科学講座)		195,000円
大 桃 秀 樹 (いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)		13,299,000円
板 橋 亮 (医学部 内科学講座 神経内科・老年科分野)		650,000円
吉 岡 邦 浩 (医学部 放射線医学講座)		2,340,000円
⑧革新的がん医療実用化研究事業		
秋 山 有 史 (医学部 外科学講座)		520,000円
櫻 庭 実 (医学部 形成外科学講座)		436,020円
伊 藤 薫 樹 (医学部 内科学講座 血液腫瘍内科分野)		390,000円
志 賀 清 人 (医学部 頭頸部外科学科)		520,000円
別 府 高 明 (医学部 脳神経外科学講座)		260,000円
清 水 厚 志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		1,950,000円
⑨成育疾患克服等総合研究事業		
清 水 厚 志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		910,000円
⑩長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業 (精神障害分野)		
大 塚 耕太郎 (医学部 神経精神科学講座)		199,999円
⑪長寿・障害総合研究事業 認知症研究開発事業		
前 田 哲 也 (医学部 内科学講座 神経内科・老年科分野)		10,000,000円
⑫革新的先端研究開発支援事業		
前 田 哲 也 (医学部 内科学講座 神経内科・老年科分野)		4,290,000円
⑬医薬品等規制調和・評価研究事業		
嶋 森 好 子 (看護学部 共通基盤看護学講座)		1,079,000円
⑭免疫アレルギー疾患等実用化研究事業 免疫アレルギー疾患実用化研究分野		
松 本 主 之 (医学部 内科学講座 消化器内科消化器管分野)		1,300,000円
⑮再生医療実用化研究事業		
小 山 耕太郎 (医学部 小児科学講座)		1,523,139円
⑯腎疾患実用化研究事業		
旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		195,000円

6. その他公的機関受託研究等 9件 17,508,094円

(1) 独立行政法人日本学術振興会 (代表)		
①二国間交流事業「韓国 (NRF) との共同研究」		
大 津 圭 史 (解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))		1,122,000円
(2) 岩手県 (代表)		
①岩手県認定看護師等推進事業に係る調査研究業務委託事業		
三 浦 幸 枝 (看護学部 共通基盤看護学講座)		819,324円
②いわて戦略的研究開発推進事業 (応用研究ステージ)		
岸 光 男 (歯学部 口腔医学講座予防歯科学分野)		1,240,470円
(3) 青森県 (代表)		
①青森県量子科学センター委託研究事業		
寺 崎 一 典 (医歯薬総合研究所 高エネルギー医学研究部門)		1,494,220円
佐々木 敏 秋 (医歯薬総合研究所 高エネルギー医学研究部門)		1,470,300円
小 林 正 和 (医学部 脳神経外科学講座)		1,781,780円
(4) 国立がん研究センター (分担)		
①国立がん研究センター研究開発費		
坂 田 清 美 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		1,500,000円
清 水 厚 志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		2,000,000円
(5) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 (分担)		
①革新的技術開発・緊急展開事業 (経営体強化プロジェクト)		
弘 瀬 雅 教 (薬学部 病態薬理学講座分子細胞薬理学分野)		6,080,000円

7. 解剖体慰霊祭および解剖体数

解剖体慰霊祭を令和元年6月22日（土）に矢巾キャンパス大堀記念講堂で行いました。

- (1) 慰霊祭の対象者数：病理解剖 33 霊、正常解剖 77 霊、実践的手術手技向上研修 4 霊
- (2) 本年度の解剖体数：病理解剖 28 体、正常解剖 67 体、実践的手術手技向上研修 10 体

8. 白寿会員数

- (1) 会員数（生存者）
1,451 人（うち本年度入会者 91 人）
- (2) 献体者延数
1,742 人（うち本年度献体者 75 人）

9. 海外出張者数（延べ人数）

医学部	120 人
歯学部	46 人
薬学部	4 人
看護学部	5 人
教養教育センター	5 人

10. 国家試験成績

学校	学部・学科等	国家試験	受験者 (新卒) [既卒]	合格者 (新卒) [既卒]	合格率 (新卒) [既卒]	全国平均 (新卒) [既卒]
岩手医科大学	医学部	第114回医師国家試験 実施：令和2年2月8日～9日 発表：令和2年3月16日	154名 (110名) [44名]	141名 (105名) [36名]	91.6% (95.5%) [81.8%]	92.1% (94.9%) [69.2%]
	歯学部	第113回歯科医師国家試験 実施：令和2年2月1日～2日 発表：令和2年3月16日	65名 (35名) [30名]	46名 (34名) [12名]	70.8% (97.1%) (40.0%)	65.6% (79.3%) [43.1%]
	薬学部	第105回薬剤師国家試験 実施：令和2年2月22日～23日 発表：令和2年3月24日	234名 (111名) [123名]	116名 (77名) [39名]	49.6% (69.4%) [31.7%]	69.6% (84.8%) [42.7%]
岩手看護短期大学	看護学科	第109回看護師国家試験 実施：令和2年2月16日 発表：令和2年3月19日	10名 (-) [10名]	4名 (-) [4名]	40.0% (-) [40.0%]	89.2% (94.7%) [37.4%]
	専攻科 地域看護学専攻	第106回保健師国家試験 実施：令和2年2月14日 発表：令和2年3月19日	21名 (20名) [1名]	21名 (20名) [1名]	100.0% (100.0%) [100.0%]	91.5% (96.3%) [53.2%]
	専攻科 助産学専攻	第103回助産師国家試験 実施：令和2年2月13日 発表：令和2年3月19日	15名 (14名) [1名]	15名 (14名) [1名]	100.0% (100.0%) [100.0%]	99.4% (99.5%) [71.4%]
医療専門学校	歯科衛生学科	第29回歯科衛生士国家試験 実施：令和2年3月1日 発表：令和2年3月26日	32名 (32名) [-]	32名 (32名) [-]	100.0% (100.0%) [-]	94.3%
	歯科技工学科	令和元年度歯科技工士国家試験 実施：令和2年2月16日 発表：令和2年3月26日	9名 (7名) [2名]	8名 (7名) [1名]	88.9% (100.0%) [50.0%]	95.0%

IV 附属病院の概要

1. 患者数

区 分			患者数 (人)		一日平均 (人)			
			平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度		
入院患者	附属病院	附属病院 (医科)	260,536	250,424	714	684		
		高度救命救急センター	21,299	20,911	58	57		
		循環器医療センター	35,412	15,343	97	89		
		歯科医療センター・歯科 (矢巾)	4,724	3,357	13	9		
		小 計	321,971	290,035	882	839		
	附属内丸メディカルセンター (医科)	—	1,760	—	10			
附属花巻温泉病院 (平成30年度末閉院)			11,944	—	33	—		
合 計			333,915	291,795	915	849		
外来患者	附属病院	附属病院 (医科)	新来	26,875	17,433	101	66	
			※いわてこどもケアセンター含む	再来	358,149	232,979	1,346	886
				計	385,024	250,412	1,447	952
		高度救命救急センター	新来	3,711	3,024	14	11	
			再来	1,712	813	7	6	
			計	31,214	14,178	117	112	
				計	32,926	14,991	124	118
		PET・リニアック先端医療センター	新来	75	33	1	0	
			再来	1,688	774	6	6	
			計	1,763	807	7	6	
	歯科医療センター 歯科 (矢巾)	新来	7,955	4,795	30	18		
		再来	99,981	50,903	376	194		
		計	107,936	55,698	406	212		
			小 計	531,360	324,932	1,998	1,299	
	附属内丸メディカルセンター	医科	新来	—	9,633	—	71	
再来			—	107,287	—	789		
計			—	116,920	—	860		
歯科医療センター		新来	—	3,227	—	24		
		再来	—	46,943	—	345		
		計	—	50,170	—	369		
		小 計	—	167,090	—	1,229		
附属花巻温泉病院 (平成30年度末閉院)			新来	1,135	—	5	—	
			再来	12,054	—	45	—	
			計	13,189	—	50	—	
合 計			544,549	492,022	2,048	2,528		

・入院患者数は在院患者数 (24時現在の患者数) に退院患者数を加算した延べ患者数である。

・外来患者数には入院者外来数は含まない。

・令和元年9月21日に附属病院を移転、附属内丸メディカルセンターを開院した。

・附属病院は、移転前後の患者数等を合算している (2~5の項目も同様)。

2. 救急患者取扱件数

区 分		平成30年度	令和元年度
附属病院	附属病院 (医科)	17,493	15,537
	高度救命救急センター	3,568	4,458
	循環器医療センター	276	320
	歯科医療センター・歯科 (矢巾)	728	616
	小 計	22,065	20,931
附属内丸メディカルセンター	医科	—	167
	歯科医療センター	—	17
	小 計	—	184
附属花巻温泉病院 (平成30年度末閉院)		536	—
合 計		22,601	21,115

3. 分娩件数

平成30年度	令和元年度
354	293

4. アイバンク登録者数

登録者 10,935人 (27人)
 角膜提供者 1,122人 (6人)
 被角膜移植者 1,410人 (6人)
 () 内は本年度の数値

5. 手術件数および死亡者数

区 分		手術件数		死亡者数	
		平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
附属病院	附属病院 (医科)	8,218	7,914	272	311
	高度救命救急センター	473	465	71	51
	循環器医療センター	850	387	62	42
	歯科医療センター・歯科 (矢巾)	306	335	0	0
	小 計	9,847	9,101	405	404
附属内丸メディカルセンター	医科	—	499	—	0
	歯科医療センター	—	0	—	0
	小 計	—	499	—	0
附属花巻温泉病院 (平成30年度末閉院)		537	—	19	—
合 計		10,384	9,600	424	404

V 財務の概要

令和元年度は、消費税増税や建築資材などの高騰が、附属病院移転計画を含む本学の経営に大きな影響を及ぼしている中、本学は教育・研究・医療の活性化と質的向上を目指し、各事業を推進しました。

創立 120 周年記念事業関係については、矢巾新附属病院の新築、トクタヴェールなど周辺付属施設の整備、また、病院移転整備事業における各種機器備品の整備などを行いました。一方で、移転前後の医療収入減少を最小限に留めるよう努め、補助金や研究費などの外部資金の積極的な獲得を図り、財政基盤の更なる強化に努めました。

事業活動収入合計は前年度より約 43 億円減少の 506 億 1,813 万円を計上しました。主な減少要因は、学生生徒等納付金の減収、さらに、医療収入が前年度より約 23 億円減少の 344 億 7,601 万円、補助金収入が前年度より約 13 億円減少の 45 億 6,949 万円を計上したことが挙げられます。補助金収入は、経常費等補助金が増収となった一方、施設設備補助金が約 18 億円減少し施設設備補助金合計で 11 億 6,248 万円を計上しました。

事業活動支出合計は、前年度より約 51 億円増加の 570 億 4,292 万円を計上しました。主な増加要因としては、消耗品経費が前年度より約 8 億円増加の 16 億 3,769 万円を計上したことなど、附属病院移転計画に伴う支出の増加、また、人件費及びその他諸経費の増加が挙げられます。

以上により、当期決算は、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より約 94 億円減少の△64 億 2,479 万円となり、矢巾新附属病院関連等の基本金組入額△49 億 4,102 万円を計上したことにより、当年度収支差額は△113 億 6,581 万円となりました。

1. 事業活動収支

(1) 事業活動収入

事業活動収入の合計額 506 億 1,813 万円は、前年度比 43 億 1,750 万円（7.9%）減少、予算比では 13 億 2,758 万円（2.6%）下回りました。

区分別では、教育活動収入合計 490 億 9,127 万円は前年度比 24 億 5,988 万円（4.8%）減少、教育活動外収入合計 492 万円は前年度比 220 万円（31.0%）減少、特別収入合計 15 億 2,195 万円は前年度比 18 億 5,542 万円（54.9%）減少しました。

①学生生徒等納付金 81 億 3,001 万円は、前年度比 1 億 7,545 万円（2.1%）減少しました。主な減少要因は、年次進行により学生数が増加している看護学部以外の学部および岩手看護短期大学の学生数減少ならびに医療専門学校の歯科技工学科の学生募集停止によるものです。

各学部等の内訳は次のとおりです。

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部
授業料	20億 6,240万円	8億 5,216万円	8億 4,591万円	2億 7,737万円
入学金	4億 3,900万円	3,500万円	1,925万円	2,700万円
実験実習費	4億 17万円	522万円	1億 2,238万円	4,410万円
教育充実費	10億 5,250万円	3億 2,500万円	—	—
施設整備費	8億 1,980万円	3億 3,350万円	2億 5,920万円	6,950万円
計	47億 7,387万円	15億 5,088万円	12億 4,674万円	4億 1,797万円
	医療専門学校	岩手看護短期大学	計	
授業料	5,335万円	2,800万円	41億 1,919万円	
入学金	850万円	700万円	5億 3,575万円	
実験実習費	2,685万円	600万円	6億 472万円	
教育充実費	—	210万円	13億 7,960万円	
施設整備費	—	875万円	14億 9,075万円	
計	8,870万円	5,185万円	81億 3,001万円	

②医療収入 344億 7,601万円は、前年度比 22億 6,128万円（6.2%）減少しました。

附属病院（医科）、循環器医療センター、PET・リニアック先端医療センター、内丸メディカルセンター（医科）を合計した医科部門の医療収入は前年度比 21億 9,004万円（6.1%）の減少、附属病院（歯科）、内丸メディカルセンター（歯科）を合計した歯科部門の医療収入は前年度比 7,123万円（6.5%）の減少となりました。

病院別の医療収入内訳は次のとおりです。

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	循環器医療センター	PET・リニアック 先端医療センター
入院収入	205億 1,947万円	1億 8,958万円	28億 5,473万円	—
外来収入	74億 3,118万円	4億 4,112万円	1億 7,812万円	1億 234万円
その他の 医療収入	2億 2,199万円	302万円	1,169万円	12万円
計	281億 7,264万円	6億 3,372万円	30億 4,454万円	1億 246万円
	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計	
入院収入	1億 5,721万円	—	237億 2,099万円	
外来収入	19億 5,515万円	3億 8,669万円	104億 9,460万円	
その他の 医療収入	2,274万円	86万円	2億 6,042万円	
計	21億 3,510万円	3億 8,755万円	344億 7,601万円	

③補助金合計額は、45億6,949万円で前年度比12億8,512万円（22.0%）減少しました。

区分別では、教育活動収入の経常費等補助金34億701万円は前年度比5億540万円（17.4%）増加し、国庫補助金として私立大学等経常費補助金17億8,025万円、医療研究開発推進事業費補助金（いわて東北メディカル・メガバンク機構）5億2,975万円等、地方公共団体補助金として高度救命救急センター運営費補助金2億5,619万円、岩手県ドクターヘリ運航事業補助金2億4,913万円等がありました。特別収入の施設設備補助金11億6,248万円は前年度比17億9,052万円（60.6%）減少し、地方公共団体補助金として高度救命救急医療等提供拠点整備費補助金（岩手県）10億1,875万円、救急センター特殊災害医療体制等整備費補助金（岩手県）5,782万円等がありました。

（2）事業活動支出

事業活動支出の合計額570億4,292万円は、前年度比50億7,504万円（9.8%）増加、予算比では27億8,970万円（5.1%）上回りました。

区分別では、教育活動支出合計559億1,000万円は前年度比51億2,430万円（10.1%）増加、特別支出合計10億6,720万円は前年度比1億6,980万円（9.1%）減少しました。

教育活動外支出は、6,572万円を計上しました。

①人件費225億4,630万円は、前年度比1億623万円（0.5%）増加しました。

給与、賞与、所定福利費の合計213億8,739万円は、前年度比4億1,110万円（2.0%）増加し、退職金と退職給与引当金繰入額の合計10億9,999万円は、前年度比3億488万円（21.7%）減少しました。

②医療経費155億1,531万円は、前年度比5億4,549万円（3.4%）減少しました。

医薬品費は、前年度比2億4,260万円（2.9%）の減少、医療材料費は2億9,564万円（3.9%）の減少、給食材料費は726万円（3.2%）減少しました。

医療収入に対する医療経費割合は45.0%となり、前年度より1.3%増加しました。

病院別の医療経費内訳は次のとおりです。

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	循環器医療センター	PET・リニアック 先端医療センター
医薬品費	69億2,227万円	1,472万円	2億689万円	11万円
(対医療収入比)	(24.6%)	(2.3%)	(6.8%)	(0.1%)
医療材料費	53億6,668万円	1億1,479万円	13億6,301万円	4,178万円
(対医療収入比)	(19.0%)	(18.1%)	(44.8%)	(40.8%)
給食材料費	2億373万円	329万円	1,128万円	—
(対医療収入比)	(0.7%)	(0.5%)	(0.4%)	—
計	124億9,268万円	1億3,280万円	15億8,118万円	4,189万円
(対医療収入比)	(44.3%)	(21.0%)	(51.9%)	(40.9%)

	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計
医薬品費	8億7,351万円	373万円	80億2,123万円
(対医療収入比)	(40.9%)	(1.0%)	(23.3%)
医療材料費	3億889万円	7,919万円	72億7,434万円
(対医療収入比)	(14.5%)	(20.4%)	(21.1%)
給食材料費	144万円	—	2億1,974万円
(対医療収入比)	(0.1%)	—	(0.6%)
計	11億8,384万円	8,292万円	155億1,531万円
(対医療収入比)	(55.4%)	(21.4%)	(45.0%)

- ③消耗品費 16億3,769万円は、前年度比 7億8,338万円（91.7%）増加しました。
- ④光熱水費は、重油料 2億7,383万円、ガス料 2億3,532万円、電気料 8億2,711万円、水道料 1億6,386万円、合計 15億12万円となり前年度比 2億6,997万円（22.0%）増加しました。
- ⑤修繕費は、施設修繕費 7億7,431万円、機器備品修繕費 1億8,201万円、合計 9億5,632万円となり前年度比 6億2,716万円（190.5%）増加しました。
- ⑥業務委託費 48億2,127万円は、前年度比 9億2,806万円（23.8%）増加しました。
病院別では、附属病院（医科）27億5,730万円、附属病院（歯科）6,999万円、循環器医療センター1億7,510万円、内丸メディカルセンター（医科）4億5,365万円、内丸メディカルセンター（歯科）7,662万円、その他 12億8,861万円です。
- ⑦福利費 2億3,345万円は、学生福利費 2,932万円、職員福利費 2億413万円であり、健康診断経費等です。
- ⑧減価償却額 48億7,506万円は、前年度より 17億9,560万円増加しました。
- ⑨公租公課 5,923万円は、法人税・事業税 2,743万円、固定資産税・都市計画税 2,359万円等です。
- ⑩借入金利息により 6,572万円を計上しました。
- ⑪資産処分差額 2億5,020万円は、花巻温泉病院職員宿舎跡地売却に係る売却損及び耐用年数が経過した資産未償却額の除却等です。

2. 資本収支

(1) 資産の部

- ①施設関係支出は、建物 3億2,760万円、病院移転整備事業として建設仮勘定 73億848万円等です。
- ②設備関係支出 106億4,554万円は、病院移転整備事業における機器備品を含む教育研究用機器備品 106億442万円等です。
- ③第2号基本金引当特定資産は、総合移転整備事業資金として 22億円を積み立て、総合移転整備事業資金より 48億8,500万円を取り崩しました。
- ④貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料 8億4,745万円、歯科貴

金属 619 万円、合計 8 億 5,364 万円です。

(2) 負債、純資産の部

- ①退職給与引当金残高 126 億 4,623 万円のうち 73 億 5,736 万円は、平成 23 年度から 10 年間毎年度均等に繰り入れている退職給与引当金特別繰入額の累積額です。
- ②附属病院移転に係る資金として、200 億円の長期借入を行いました。
- ③前受金残高 13 億 9,994 万円は、令和 2 年度入学生の学生生徒等納付金等です。
- ④預り金残高 6 億 3,448 万円は、源泉所得税 5,257 万円、県市町村民税 9,992 万円、私学共済掛金 1 億 5,202 万円等です。
- ⑤基本金は 49 億 4,102 万円を組入れし、1,328 億 1,923 万円となりました。
- ⑥当年度収支差額△113 億 6,581 万円と前年度繰越収支差額△318 億 9,624 万円を合計した翌年度繰越収支差額は、△432 億 6,205 万円となりました。
- ⑦純資産の部合計（基本金+繰越収支差額）は、前年度より 64 億 2,479 万円減少し、895 億 5,718 万円となりました。
- ⑧令和元年度末現在で作成する財産目録純資産額（資産総額－負債総額）は 895 億 5,718 万円です。

※各科目の説明等は 50 ページ以降に記載しています。

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

(1) 経営状況の分析

日本私立学校振興・共済事業団が公表している「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(※)」に当期決算を当てはめた結果、正常な経営状態である「A3」区分に該当します。

令和元年度においては、当年度収支差額がマイナスとなりましたが、これは今年度に竣工し開院した矢巾新附属病院ならびに内丸メディカルセンター事業計画によるものです。次年度以降の事業活動収支には新病院に係る減価償却費が計上されていきますが、資金収支上は順調に資金を確保していくことが可能です。

※定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

教育研究活動のキャッシュフローを基礎に、外部負債と運用資産の状況により学校法人の経営状態を区分したものです。A1～D3 の 14 区分のうち、A3 以上が正常な経営状態となります。

(2) 経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

近年の社会情勢は、大学の増加や少子化の影響により、大学淘汰の時代が到来しています。本学の財政基盤の持続的安定のためには、入学定員充足による学生生徒納付金の確保が不可欠です。

また、矢巾新附属病院と内丸メディカルセンターそれぞれの病院機能を最大限に活用して患者の確保に努め医療収入の増収を図るとともに、コストを削減していくことが必要です。

これらを踏まえ、内丸メディカルセンター新棟の早期建設に向けた積立計画を着実に実行していきます。

4. 令和元年度事業活動収支計算書

		<収入の部>		<支出の部>		(単位:千円)
区分	科目	金額	科目	金額		
教育活動収支	1. 学生生徒等納付金	8,130,010	1. 人件費	22,546,296		
	(1) 授業料	4,119,193	(1) 教員人件費	6,144,487		
	(2) 入学金	535,750	(2) 職員人件費	15,242,898		
	(3) 実験実習費	604,717	(3) 役員報酬	58,920		
	(4) 教育充実費	1,379,600	(4) 退職金	113,721		
	(5) 施設整備費	1,490,750	(5) 退職給与引当金繰入額	986,270		
	2. 手数料	187,588	2. 諸経費	33,363,702		
	3. 医療収入	34,476,010	(1) 医療経費	15,515,311		
	(1) 入院収入	23,720,991	(2) 消耗品費	1,637,693		
	(2) 外来収入	10,494,604	(3) 光熱水費	1,500,118		
	(3) その他の医療収入	260,415	(4) 旅費	201,381		
	4. 寄付金	730,966	(5) 印刷製本費	140,936		
	(1) 特別寄付金	356,783	(6) 通信費	101,169		
	(2) 一般寄付金	372,259	(7) 交通運搬費	913,871		
	(3) 現物寄付	1,924	(8) 洗濯費	76,210		
	5. 経常費等補助金	3,407,012	(9) 修繕費	956,320		
	(1) 私立大学等経常費補助金	1,780,246	(10) 諸会費	92,153		
	(2) その他の国庫補助金	654,847	(11) 賃借料	659,012		
	(3) 地方公共団体補助金	971,919	(12) 業務委託費	4,821,267		
	6. 付随事業収入	1,309,105	(13) 福利費	233,454		
	(1) 補助活動収入	153,756	(14) 減価償却額	4,875,061		
(2) 受託事業収入	1,118,430	(15) 公租公課	59,227			
(3) 附属事業収入	19,037	(16) その他	1,580,519			
(4) 保育料等収入	17,882					
7. 雑収入	850,574					
	A 教育活動収入計	49,091,265	E 教育活動支出計	55,909,998		
教育活動外収支	8. 受取利息配当金	4,915	3. 借入金等利息	65,717		
	B 教育活動外収入計	4,915	F 教育活動外支出計	65,717		
特別収支	9. その他の特別収入	1,521,952	4. 資産処分差額	250,204		
	(1) 施設設備寄付金	325,405	5. その他の特別支出	817,000		
	(2) 施設設備現物寄付	33,673	(1) 退職給与引当金特別繰入額	817,000		
	(3) 施設設備補助金	1,162,481	(2) 過年度修正額	0		
	(4) 過年度修正額	393				
	C 特別収入計	1,521,952	G 特別支出計	1,067,204		
	D 事業活動収入計	50,618,132	H 事業活動支出計	57,042,919		

① 教育活動収支差額(A-E)	△ 6,818,733	⑥ 基本金組入額合計	△ 4,941,024
② 教育活動外収支差額(B-F)	△ 60,802	⑦ 当年度収支差額(⑤+⑥)	△ 11,365,811
③ 経常収支差額(①+②)	△ 6,879,535	⑧ 前年度繰越収支差額	△ 31,896,242
④ 特別収支差額(C-G)	454,748	⑨ 翌年度繰越収支差額(⑦+⑧)	△ 43,262,053
⑤ 基本金組入前当年度収支差額(D-H)	△ 6,424,787		

5. 令和元年度資金収支計算書

＜収入の部＞		＜支出の部＞	
		(単位:千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 学生生徒等納付金収入	8,130,010	1. 人件費支出	22,389,325
2. 手数料収入	187,588	(1) 教員人件費支出	6,144,487
3. 寄付金収入	1,054,447	(2) 職員人件費支出	15,242,898
(1) 特別寄付金収入	682,188	(3) 役員報酬支出	58,920
(2) 一般寄付金収入	372,259	(4) 退職金支出	943,020
4. 補助金収入	4,569,493	2. 諸経費支出	28,592,630
(1) 国庫補助金収入	2,435,093	(1) 医療経費支出	15,808,185
(2) 地方公共団体補助金収入	2,134,400	(2) 一般教育研究経費支出	9,105,302
5. 資産売却収入	3,500	(3) 管理経費支出	3,679,143
6. 付随事業収入	1,309,105	3. 借入金等利息支出	65,717
7. 医療収入	34,476,010	4. 借入金等返済支出	12,500,000
8. 受取利息・配当金収入	4,915	5. 施設関係支出	7,642,898
9. 雑収入	850,967	(1) 土地支出	1,295
10. 借入金等収入	28,500,000	(2) 建物支出	327,599
(1) 長期借入金収入	20,000,000	(3) 構築物支出	5,528
(2) 短期借入金収入	8,500,000	(4) 建設仮勘定支出	7,308,476
11. 前受金収入	1,399,944	6. 設備関係支出	10,645,537
12. その他の収入	16,518,720	(1) 教育研究用機器備品支出	10,604,415
(1) 第2号基本金引当特定資産取崩収入	4,885,003	(2) その他の設備関係支出	41,122
(2) 前期末未収入金収入	10,979,364	7. 資産運用支出	2,500,100
(3) 預り金受入等収入	654,353	8. その他の支出	15,701,303
13. 資金収入調整勘定	△ 9,130,545	(1) 前期末未払金支払支出	14,883,663
14. 前年度繰越支払資金	18,537,434	(2) 預り金支払等支出	817,640
		9. 資金支出調整勘定	△ 3,007,091
		10. 翌年度繰越支払資金	9,381,169
収入の部合計	106,411,588	支出の部合計	106,411,588

6. 貸借対照表

令和2年3月31日

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	本 年 度 末	科 目	本 年 度 末
固定資産	109,154,579	固定負債	32,651,198
有形固定資産	101,300,822	長期借入金	20,000,000
土地	10,347,240	退職給与引当金	12,646,232
建物	70,092,517	長期未払金	4,966
構築物	3,189,926	流動負債	4,950,201
教育研究用機器備品	14,487,955	未払金	2,915,781
管理用機器備品	139,991	業者未払金	2,374,887
図書	2,982,153	その他の未払金	540,894
車両	30,296	前受金	1,399,944
建設仮勘定	30,744	授業料	415,930
特定資産	7,603,598	入学金	451,050
第2号基本金引当特定資産	4,200,000	実験実習費	57,313
第3号基本金引当特定資産	403,598	教育充実費	299,300
退職給与引当特定資産	2,700,000	施設整備費	145,525
償却資産引当特定資産	300,000	その他の前受金	30,826
その他の固定資産	250,159	預り金	634,476
電話加入権	6,772	源泉徴収所得税	52,565
敷金・保証金・預託金	1,943	县市町村民税	99,917
有価証券	51,540	私学共済掛金	152,015
施設利用権	119,499	その他の預り金	329,979
奨学金	25,980	負債の部合計	37,601,399
ソフトウェア	34,968		
貸付金	9,457		
流動資産	18,003,999		
現金預金	9,381,169	繰越収支差額	△ 43,262,054
未収入金	7,684,218	純資産の部合計	89,557,179
貯蔵品	853,638		
前払金	64,562		
仮払金	20,412		
資産の部合計	127,158,578	負債及び純資産の部合計	127,158,578

注記 ・退職給与引当金の額の算定は、次のとおりです。

期末要支給額12,649,021,378円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上しています。

なお、「退職給与引当金の計上等に係る会計方針の統一について」（平成23年2月17日付け22高私参第11号文部科学省高等教育局私学部参事官通知）に基づく変更時差異8,174,360,323円については、平成23年度から毎年度均等(令和2年度までの10年間)に繰り入れています。

・減価償却額の累計額の合計額 42,603,193,103円

・翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 18,057,452,305円

7. 医療収入内訳

項 目			平成30年度決算	項 目			令和元年度決算
附属病院 (医科)	入院収入	1日平均患者数	714 人	附属病院 (医科)	入院収入	1日平均患者数	684 人
		1人1日平均単価 金 額	66,433 円 17,308,139 千円			1人1日平均単価 金 額	76,069 円 19,120,500 千円
附属病院 (医科)	外来収入	1日平均患者数	1,447 人	附属病院 (医科)	外来収入	1日平均患者数	952 人
		1人1日平均単価 金 額	23,832 円 9,175,879 千円			1人1日平均単価 金 額	29,326 円 7,350,428 千円
歯科医療 センター	入院収入	1日平均患者数	13 人	（※附属病院（医科） に移転前歯科医療セ ンターを含む）	入院収入	1日平均患者数	9 人
		1人1日平均単価 金 額	51,866 円 245,016 千円			1人1日平均単価 金 額	56,474 円 189,582 千円
歯科医療 センター	外来収入	1日平均患者数	406 人	（※附属病院（医科） に移転前歯科医療セ ンターを含む）	外来収入	1日平均患者数	212 人
		1人1日平均単価 金 額	7,814 円 843,446 千円			1人1日平均単価 金 額	7,920 円 441,121 千円
循環器医療 センター	入院収入	1日平均患者数	97 人	循環器医療 センター	入院収入	1日平均患者数	89 人
		1人1日平均単価 金 額	178,113 円 6,307,333 千円			1人1日平均単価 金 額	186,060 円 2,854,725 千円
循環器医療 センター	外来収入	1日平均患者数	124 人	循環器医療 センター	外来収入	1日平均患者数	118 人
		1人1日平均単価 金 額	12,002 円 395,172 千円			1人1日平均単価 金 額	11,848 円 178,123 千円
高度救命救急 センター	入院収入	1日平均患者数	58 人	高度救命救急 センター	入院収入	1日平均患者数	57 人
		1人1日平均単価 金 額	59,384 円 1,264,816 千円			1人1日平均単価 金 額	66,901 円 1,398,969 千円
高度救命救急 センター	外来収入	1日平均患者数	14 人	高度救命救急 センター	外来収入	1日平均患者数	11 人
		1人1日平均単価 金 額	22,358 円 82,970 千円			1人1日平均単価 金 額	26,706 円 80,759 千円
花巻温泉病院	入院収入	1日平均患者数	33 人	内丸メデイカル センター（医科）	入院収入	1日平均患者数	10 人
		1人1日平均単価 金 額	37,852 円 452,106 千円			1人1日平均単価 金 額	89,326 円 157,215 千円
花巻温泉病院	外来収入	1日平均患者数	50 人	内丸メデイカル センター（医科）	外来収入	1日平均患者数	860 人
		1人1日平均単価 金 額	9,631 円 127,025 千円			1人1日平均単価 金 額	16,721 円 1,955,145 千円
PET・リニアック 先端医療 センター	外来収入	1日平均患者数	7 人	PET・リニアック 先端医療 センター （歯科）	外来収入	1日平均患者数	369 人
		1人1日平均単価 金 額	145,239 円 256,056 千円			1人1日平均単価 金 額	7,707 円 386,692 千円
医療収入合計			36,457,958 千円	PET・リニアック 先端医療 センター	外来収入	1日平均患者数	6 人
その他の医療収入			279,328 千円			1人1日平均単価 金 額	126,810 円 102,336 千円
総 合 計			36,737,286 千円	医療収入合計			34,215,595 千円
				その他の医療収入			260,415 千円
				総 合 計			34,476,010 千円

注1) 各病院の入院患者数は在院患者数（24時現在の患者数）に退院患者数を加算した延べ患者数です。
注2) 一人一日平均診療単価は審査過誤減額後の診療単価です。

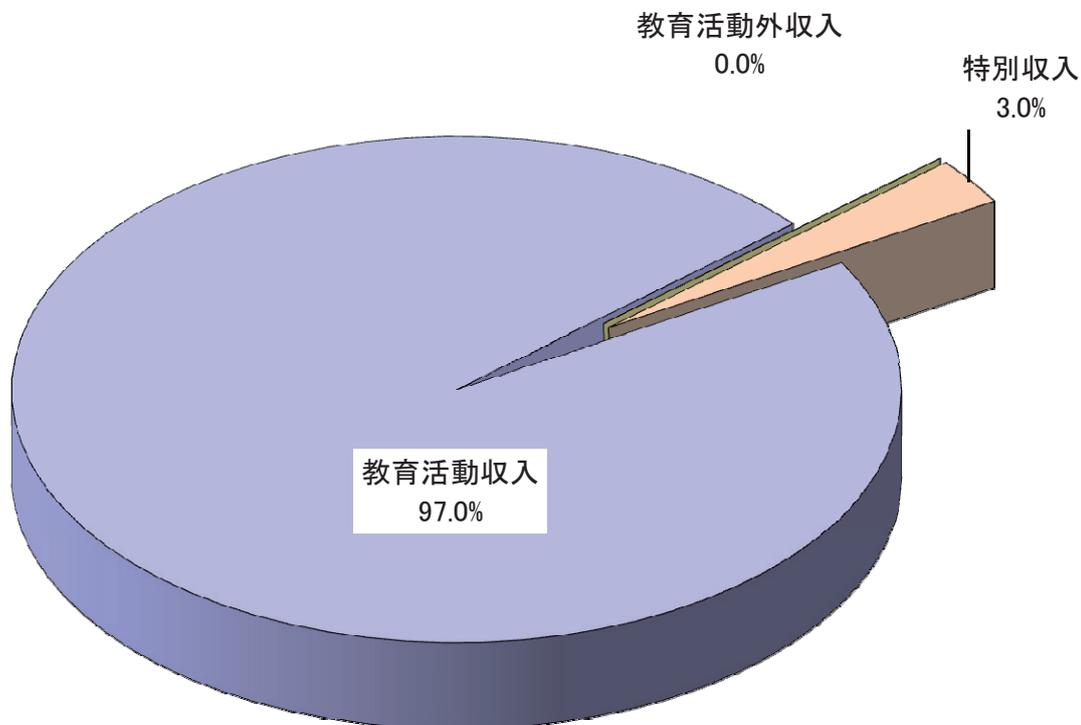
(単位:千円)

項目	平成30年度		令和元年度	
	医科	歯科	医科	歯科
入院収入	25,332,394	245,016	23,531,409	189,582
増減率(入院)	-	-	△7.1%	△22.6%
外来収入	10,037,102	843,446	9,666,791	827,813
増減率(外来)	-	-	△3.7%	△1.9%

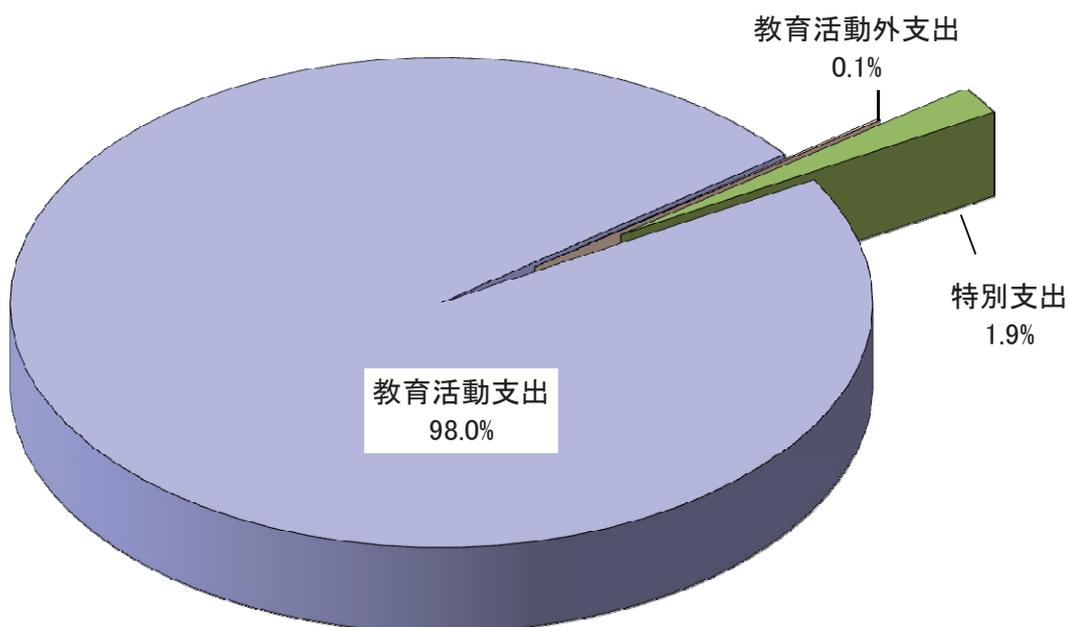
注3) 医科の増減率は附属病院(医科)、循環器医療センター、高度救命救急センター、花巻温泉病院、PET・リニアック先端医療センター、内丸メデイカルセンター(医科)の合計です。また、歯科の増減率は歯科医療センター、附属病院(歯科)、内丸メデイカルセンター(歯科)の合計です。

8. 令和元年度事業活動収支構成比率

〔事業活動収入〕

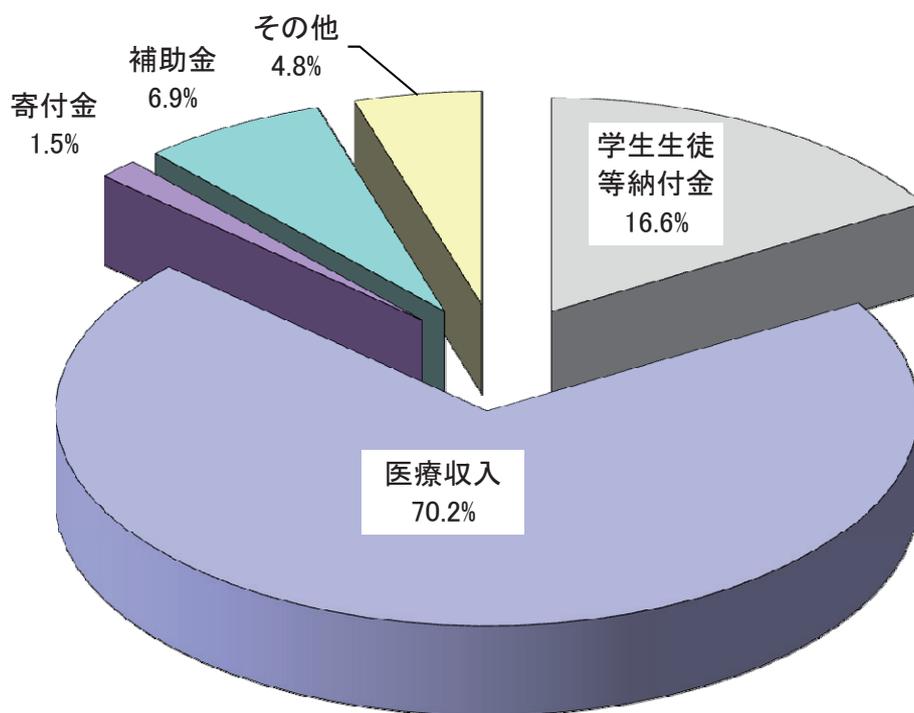


〔事業活動支出〕

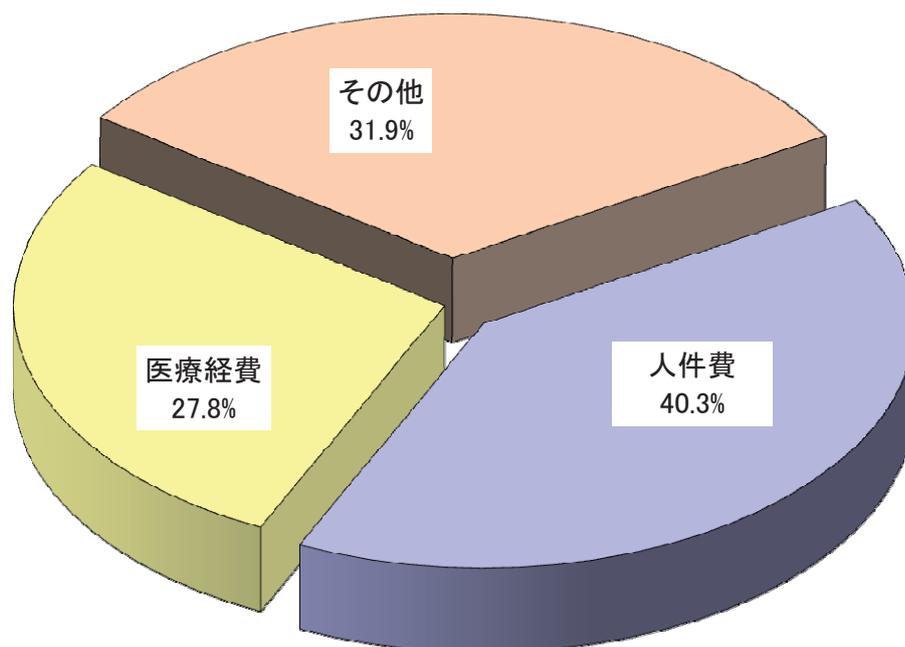


9. 令和元年度教育活動収支構成比率

〔教育活動収入〕



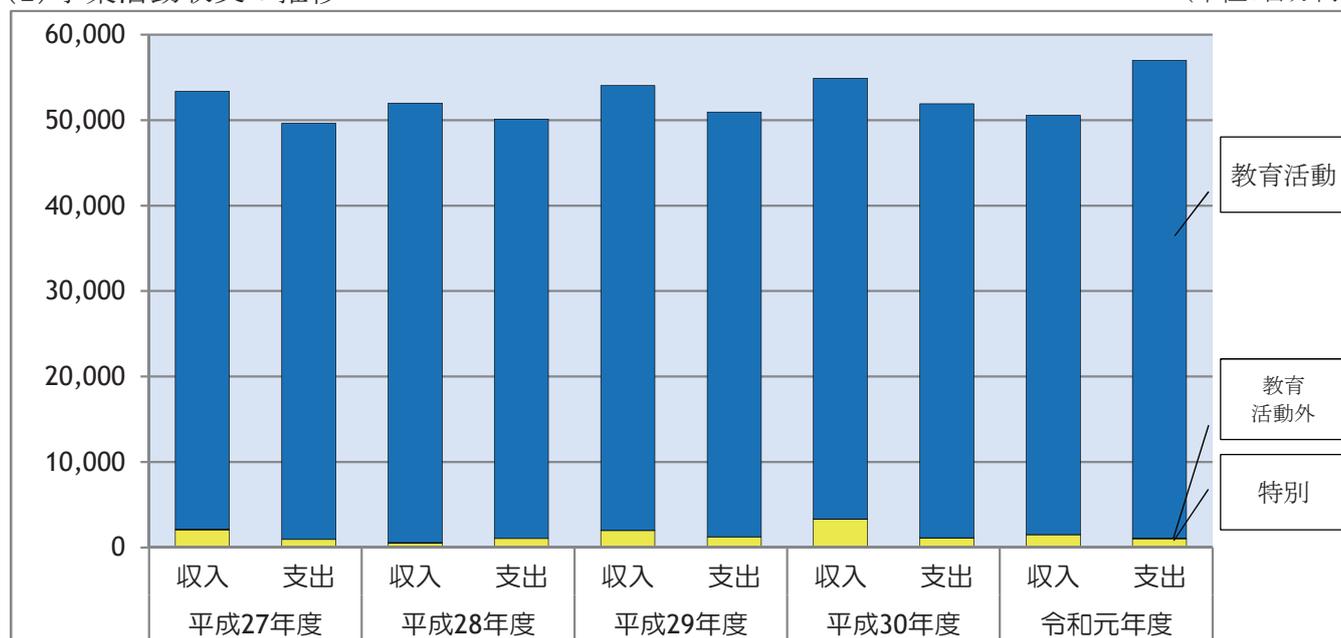
〔教育活動支出〕



10. 経年比較

(1) 事業活動収支の推移

(単位:百万円)



<事業活動収入>

(単位:百万円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育活動収入	51,237	51,397	52,047	51,551	49,091
教育活動外収入	72	31	9	7	4
特別収入	2,094	584	2,029	3,377	1,521
事業活動収入計	53,404	52,013	54,085	54,935	50,618

※百万円未満切捨てのため、合計が計算上一致しない場合があります。次ページ以降同様となります。

【構成比率】

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育活動収入	96.0%	98.8%	96.2%	93.8%	97.0%
教育活動外収入	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
特別収入	3.9%	1.1%	3.8%	6.2%	3.0%
事業活動収入計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<事業活動支出>

(単位:百万円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育活動支出	48,696	49,065	49,698	50,785	55,909
教育活動外支出	0	0	0	7	65
特別支出	962	1,091	1,277	1,174	1,067
事業活動支出計	49,658	50,156	50,975	51,967	57,042

【構成比率】

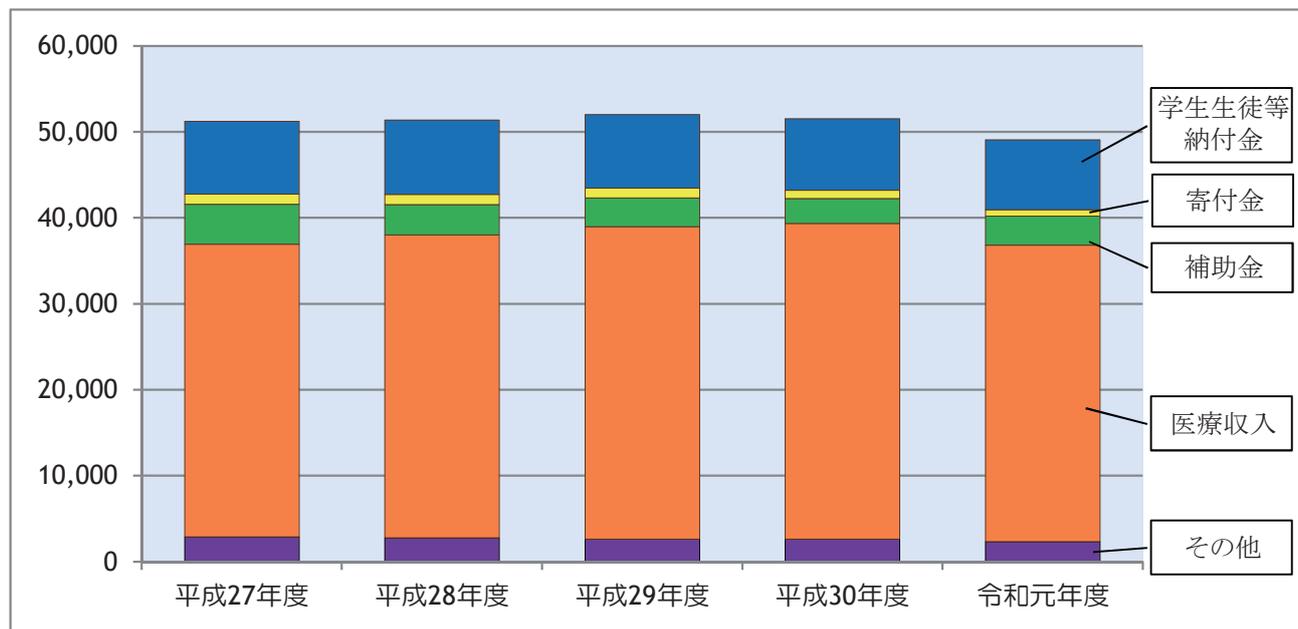
区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育活動支出	98.1%	97.8%	97.5%	97.7%	98.0%
教育活動外支出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
特別支出	1.9%	2.2%	2.5%	2.3%	1.9%
事業活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

(2) 教育活動収支の推移

① 教育活動収入の推移

(単位:百万円)



< 教育活動収入 >

(単位:百万円)

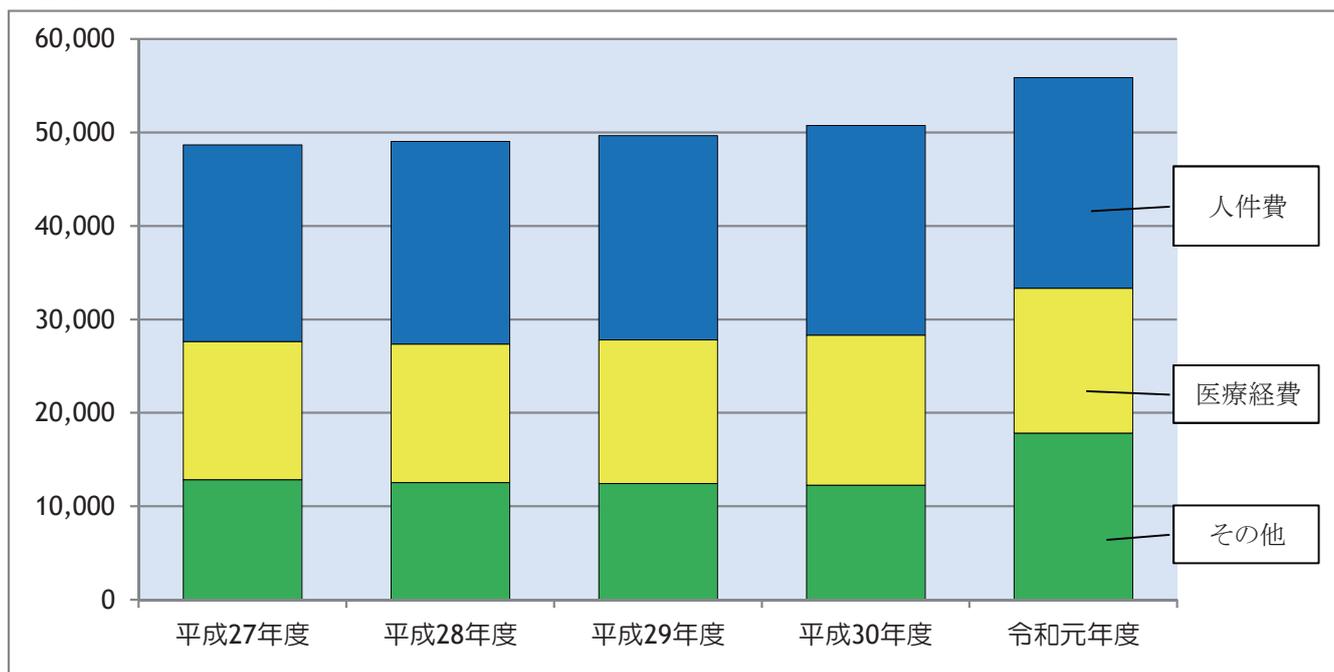
科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金	8,463	8,632	8,538	8,305	8,130
寄付金	1,196	1,220	1,162	965	730
経常費等補助金	4,637	3,513	3,348	2,901	3,407
付随事業収入	1,525	1,517	1,384	1,423	1,309
医療収入	34,048	35,223	36,364	36,737	34,476
雑収入他	1,366	1,289	1,249	1,218	1,038
教育活動収入合計	51,237	51,397	52,047	51,551	49,091

【構成比率】

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金	16.5%	16.8%	16.4%	16.0%	16.6%
寄付金	2.3%	2.4%	2.2%	1.9%	1.5%
経常費等補助金	9.1%	6.8%	6.4%	5.6%	6.9%
付随事業収入	3.0%	3.0%	2.7%	2.8%	2.7%
医療収入	66.5%	68.5%	69.9%	71.3%	70.2%
雑収入他	2.6%	2.5%	2.4%	2.4%	2.1%
教育活動収入合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②教育活動支出の推移

(単位:百万円)



<教育活動支出>

(単位:百万円)

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費	21,047	21,692	21,870	22,440	22,546
教育研究経費	25,332	24,735	25,237	25,716	29,273
医療経費	14,775	14,811	15,389	16,060	15,515
一般教育研究経費	10,556	9,924	9,847	9,656	13,758
管理経費	2,300	2,614	2,580	2,620	4,082
徴収不能額	16	22	8	7	7
教育活動支出計	48,696	49,065	49,698	50,785	55,909

【構成比率】

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費	43.2%	44.2%	44.0%	44.2%	40.3%
教育研究経費	52.0%	50.4%	50.8%	50.6%	52.4%
医療経費	30.3%	30.2%	31.0%	31.6%	27.8%
一般教育研究経費	21.7%	20.2%	19.8%	19.0%	24.6%
管理経費	4.7%	5.3%	5.2%	5.2%	7.3%
徴収不能額	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
教育活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

(3) 資金収支の推移

① 収入の推移

(単位:百万円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金収入	8,463	8,632	8,538	8,305	8,130
寄付金収入	1,575	1,616	1,559	1,356	1,054
補助金収入	6,309	3,674	4,930	5,854	4,569
資産売却収入	0	0	0	0	3
付随事業収入	1,525	1,517	1,384	1,423	1,309
医療収入	34,048	35,223	36,364	36,737	34,476
受取利息・配当金収入	72	31	9	7	4
雑収入他	1,366	1,289	1,249	1,218	1,038
長期借入金収入	0	0	0	0	20,000
短期借入金収入	0	0	0	4,000	8,500
前受金収入	1,422	1,577	1,449	1,446	1,399
その他の収入	12,690	12,964	13,839	23,257	16,518
資金収入調整勘定	△ 10,720	△ 9,174	△ 10,777	△ 12,436	△ 9,130
前年度繰越支払資金	15,835	18,331	21,032	21,272	18,537
収入の部合計	72,589	75,686	79,578	92,442	106,411

【構成比率】

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金収入	11.6%	11.4%	10.7%	9.0%	7.6%
寄付金収入	2.2%	2.1%	2.0%	1.5%	1.0%
補助金収入	8.7%	5.0%	6.3%	6.3%	4.3%
資産売却収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
付随事業収入	2.1%	2.0%	1.7%	1.5%	1.2%
医療収入	46.9%	46.5%	45.7%	39.8%	32.4%
受取利息・配当金収入	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
雑収入他	1.9%	1.7%	1.6%	1.3%	1.0%
長期借入金収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%
短期借入金収入	0.0%	0.0%	1.6%	4.3%	8.0%
前受金収入	2.0%	2.1%	1.8%	1.6%	1.3%
その他の収入	17.5%	17.1%	17.4%	25.2%	15.5%
資金収入調整勘定	△ 14.8%	△ 12.1%	△ 13.6%	△ 13.5%	△ 8.5%
前年度繰越支払資金	21.8%	24.2%	26.4%	23.0%	17.4%
収入の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②支出の推移

(単位:百万円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費支出	21,085	21,797	22,054	22,552	22,389
教育研究経費支出	21,909	21,301	21,993	22,758	24,913
医療経費支出	14,765	14,901	15,408	16,072	15,808
一般教育研究経費支出	7,143	6,400	6,585	6,685	9,105
管理経費支出	2,202	2,506	2,473	2,506	3,679
借入金等利息支出	0	0	0	7	65
借入金等返済支出	0	0	0	0	12,500
施設関係支出	5,093	859	12,331	26,280	7,642
設備関係支出	981	640	2,446	763	10,645
資産運用支出	4,501	4,500	4,500	2,000	2,500
その他の支出	3,888	6,103	3,882	12,056	15,701
予備費	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 5,405	△ 3,056	△ 11,375	△ 15,019	△ 3,007
次年度繰越支払資金	18,331	21,032	21,272	18,537	9,381
支出の部合計	72,589	75,686	79,578	92,442	106,411

【構成比率】

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費支出	29.0%	28.8%	27.7%	24.4%	21.0%
教育研究経費支出	30.2%	28.2%	27.7%	24.6%	23.4%
医療経費支出	20.3%	19.7%	19.4%	17.4%	14.9%
一般教育研究経費支出	9.9%	8.5%	8.3%	7.2%	8.5%
管理経費支出	3.0%	3.3%	3.1%	2.7%	3.5%
借入金等利息支出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
借入金等返済支出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.7%
施設関係支出	7.0%	1.1%	15.5%	28.4%	7.2%
設備関係支出	1.3%	0.8%	3.0%	0.8%	10.0%
資産運用支出	6.2%	5.9%	5.7%	2.2%	2.3%
その他の支出	5.4%	8.1%	4.9%	13.0%	14.8%
予備費	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資金支出調整勘定	△ 7.4%	△ 4.0%	△ 14.3%	△ 16.2%	△ 2.8%
次年度繰越支払資金	25.3%	27.8%	26.7%	20.1%	8.8%
支出の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

(4) 貸借対照表の推移

①資産の推移

(単位:百万円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
固定資産	77,173	76,144	86,185	98,505	109,154
有形固定資産	56,115	53,749	64,762	88,251	101,300
土地	10,512	10,376	10,376	10,376	10,347
建物	32,636	31,792	30,362	29,313	70,092
その他の有形固定資産	12,967	11,580	24,022	48,561	20,861
特定資産	20,933	22,278	21,315	9,988	7,603
その他の固定資産	124	116	107	265	250
流動資産	28,129	29,530	31,205	30,200	18,003
現金預金	18,331	21,032	21,272	18,537	9,381
その他の流動資産	9,797	8,498	9,932	11,662	8,622
資産の部合計	105,302	105,675	117,390	128,705	127,158

②負債の推移

(単位:百万円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
固定負債	10,135	10,599	11,080	11,706	32,651
長期借入金	0	0	0	0	20,000
その他の固定負債	10,135	10,599	11,080	11,706	12,651
流動負債	7,121	5,172	13,296	21,017	4,950
短期借入金	0	0	0	4,000	0
その他の流動負債	7,121	5,172	13,296	17,017	4,950
負債の部合計	17,256	15,771	24,376	32,723	37,601

③純資産の推移

(単位:百万円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
基本金	111,304	116,470	121,194	127,878	132,819
第1号基本金	91,546	94,368	99,054	117,065	124,692
第2号基本金	15,830	18,175	18,212	6,885	4,200
第3号基本金	403	403	403	403	403
第4号基本金	3,524	3,524	3,524	3,524	3,524
繰越収支差額	△ 23,258	△ 26,567	△ 28,180	△ 31,896	△ 43,262
純資産の部合計	88,046	89,903	93,014	95,981	89,557

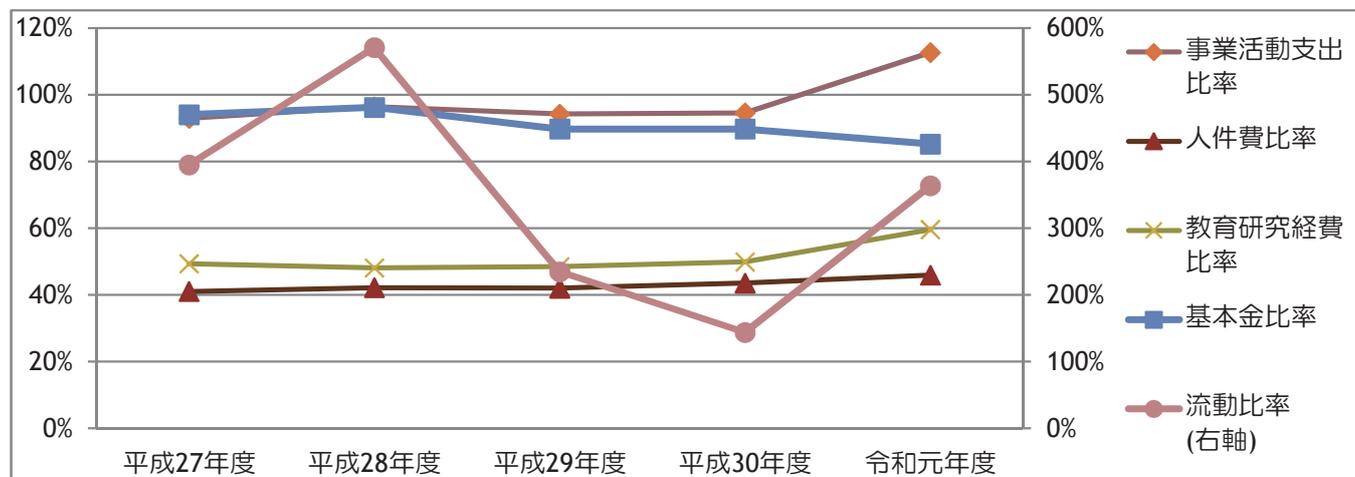
④負債及び純資産の部合計推移

(単位:百万円)

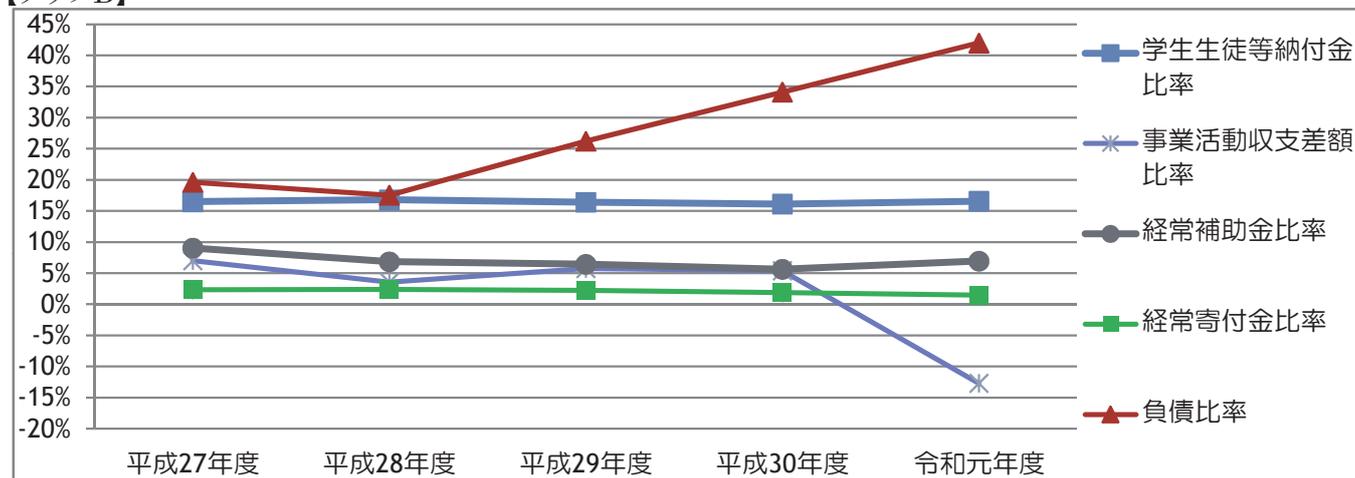
科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
負債及び純資産の部合計	105,302	105,675	117,390	128,705	127,158

(5) 主要財務比率の推移

【グラフA】



【グラフB】



※経常収入=教育活動収入+教育活動外収入

主要財務比率		計算式	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
グラフA	1 事業活動支出比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	93.0%	96.4%	94.2%	94.6%	112.7%
	2 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	41.0%	42.2%	42.0%	43.5%	45.9%
	3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	49.4%	48.1%	48.5%	49.9%	59.6%
	4 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	94.1%	96.2%	89.7%	89.7%	85.2%
	5 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	395.0%	571.0%	234.7%	143.7%	363.7%
グラフB	6 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	16.5%	16.8%	16.4%	16.1%	16.6%
	7 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	7.0%	3.6%	5.8%	5.4%	Δ12.7%
	8 経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収入の補助金}}{\text{経常収入}}$	9.0%	6.8%	6.4%	5.6%	6.9%
	9 経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収入の寄付金}}{\text{経常収入}}$	2.3%	2.4%	2.2%	1.9%	1.5%
	10 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	19.6%	17.5%	26.2%	34.1%	42.0%

11. 学校法人会計の特徴について

1、学校法人会計の特徴と企業会計との違い

学校法人は、永続的な教育研究活動の維持向上を主目的とした非営利組織であり、国や地方公共団体より補助を受けている公共性の高い組織でもあります。そのため、昭和46年に制定された「学校法人会計基準」に則り、営利の追求を目的とする企業会計とは異なる独自の会計処理が義務付けられています。

	学 校 法 人	企 業
組織の目的	永続的な教育研究活動の維持向上 (非営利組織)	利益の獲得、出資者への還元 (営利組織)
会計処理	学校法人会計基準	企業会計原則

2、学校法人会計における作成書類

学校法人会計基準では、基本的な会計処理のルールについては複式簿記の原則や企業会計原則を踏襲しておりますが、財務書類については学校法人会計独自の書類作成が必要となります。

①事業活動収支計算書（企業会計：損益計算書）

当該会計年度の収入と支出の内容と均衡状態を明確にし、学校法人の経営状態を表す財務書類です。

企業会計における損益計算書に相当しますが、企業の経営成績を示すために当該会計年度の収益と費用を計算し損益管理を行うことを目的とする損益計算書に対し、事業活動収支計算書では、利益追求を目的としない学校法人の諸活動を損益ではなく収支として表示し、基本金(※)への組入額を加味した収支の差額によって経営状態を表すことを目的としています。

なお、資金収支計算書で計上されない現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されますが、負債となる借入金や前受金(翌年度に計上するべき収入の入金分)、固定資産取得に係る支出等については計上されません。

※基本金

学校法人が諸活動を行うにあたっての必要な資産を継続的に維持するために組み入れた金額です。

企業会計における資本金に類似していますが、出資者の出資額を表す資本金に対し、基本金は、学校法人設立時に受け入れた寄付金や設立後の事業活動で獲得した自己資金により、基本金組入対象の資産を取得する金額を表します。

事業活動収支の基本金組入前当年度収支差額は、当年度の収支状況を示しますが、基本金組入対象資産は当年度に獲得した自己資金だけで取得するものではなく、学校法人が将来のために準備した積立金なども取得の原資となります。

そのため、基本金組入後の当年度収支差額によって示された経営状態は、資金収支計算書および貸借対照表とあわせて評価する必要があります。

②資金収支計算書（企業会計：キャッシュフロー計算書）

全ての収入及び支出の内容と資金の流れを明らかにする財務書類です。

企業会計におけるキャッシュフロー計算書に相当しますが、資金の獲得能力や支払能力の分析を目的とするキャッシュフロー計算書に対し、資金収支計算書では、当該会計年度の諸活動における全ての収支の内容及び支払資金の顛末を明らかにすることを目的としています。

なお、現預金が増減する諸活動全てが収支として計上されますが、現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されません。

③貸借対照表（企業会計：貸借対照表）

当該年度末時点での学校法人の資産、負債、純資産（資産－負債）の額によって財政状況を明らかにするための財務書類です。

事業活動収支計算書及び資金収支計算書は単年度の収支状況を表していますが、貸借対照表は今までの財政活動における累計額を表します。

なお、企業会計における貸借対照表とほぼ同様の様式となっていますが、企業会計では資本金を表示する部分について、学校法人会計では基本金を表示するといった違いがあります。

	学 校 法 人	企 業
財務書類	事業活動収支計算書	損益計算書
	資金収支計算書	キャッシュフロー計算書
	貸借対照表	貸借対照表

①事業活動収支計算書の科目説明

教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの
手数料	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等
寄付金	金銭その他資産を寄贈者から贈与されたもので補助金とならないもの
経常費等補助金	国または地方公共団体からの補助金
国庫補助金	国から交付される補助金
地方公共団体補助金	地方公共団体から交付される補助金
付随事業収入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入
医療収入	医療に関わる収入
雑収入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等
教育活動収入計	教育活動収入科目の合計額
事業活動支出の部	
人件費	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金、退職給与引当金への繰入額等
教育研究経費	教育研究のために支出する経費
医療経費	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費
一般教育研究経費	医療経費以外の教育研究経費
管理経費	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出
徴収不能額	債権について徴収不能となった額
教育活動支出計	教育活動支出科目の合計額
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	預金利息および株式の配当金
教育活動外収入計	教育活動外収入科目の合計額
事業活動支出の部	
借入金等利息	借入金の支払利息
教育活動外支出計	教育活動外支出科目の合計額
経常収支差額	法人の経常的な活動である、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した額
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	資産の売却で、代価が帳簿残高を超えたときの超過額
その他の特別収入	施設設備の取得に係る寄付金・補助金等の収入、過年度決算の誤りによる収入等
特別収入計	特別収入科目の合計額
事業活動支出の部	
資産処分差額	資産の売却で代価が帳簿価格を下回った時の差額
その他の特別支出	過年度決算の誤りによる支出等
特別支出計	特別支出科目の合計額
基本金組入前当年度収支差額	当該年度の事業活動収入から事業活動支出を引いた収支差額
基本金組入額合計	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、収入のうちから組入れる額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差引した合計額
前年度繰越収支差額	前年度まで繰り越された、当年度収支差額の累計額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額を足した、翌年度に繰り越される収支差額

②資金収支計算書の科目説明

収入の部	
科 目	摘 要
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの
手数料収入	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等
寄付金収入	金銭を寄贈者から贈与されたもので補助金とらないもの
補助金収入	国または地方公共団体からの補助金
国庫補助金収入	国から交付される補助金
地方公共団体補助金収入	地方公共団体から交付される補助金
資産売却収入	資産の売却収入
付随事業収入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入
医療収入	医療に関わる収入
受取利息・配当金収入	預金利息および株式の配当金
雑収入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等
借入金等収入	借入金等の収入
前受金収入	翌年度入学の学生等に係る学納金収入等
その他の収入	上記の各収入以外の収入
資金収入調整勘定	当会計年度の諸活動に対する収入で前会計年度以前に支払資金収入になったもの、 当会計年度の諸活動に対する収入で翌会計年度以降に支払資金を受入れるもの
前年度繰越支払資金	期首の現預金残高
収入の部合計	各収入科目の合計額
支出の部	
科 目	摘 要
人件費支出	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金等
教育研究経費支出	教育研究のために支出する経費
医療経費支出	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費
一般教育研究経費支出	医療経費以外の教育研究経費
管理経費支出	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出
借入金等利息支出	借入金等の支払利息
借入金等返済支出	借入金等の返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物、建設仮勘定等の支出
設備関係支出	教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書等の支出
資産運用支出	有価証券の取得、引当特定資産の繰入支出等
その他の支出	上記の各支出以外の支出
資金支出調整勘定	当該会計年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前に資金を支払ったもの、 当会計年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後に資金が支払うもの
翌年度繰越支払資金	期末の現預金残高
支出の部合計	各支出科目の合計額

③貸借対照表の科目説明

資産の部	
科 目	摘 要
固 定 資 産	有形固定資産、特定資産及びその他の固定資産
有 形 固 定 資 産	土地、建物、構築物、機器備品等の形が有る資産
土 地	校舎敷地、運動場等
建 物	校舎、体育館、建物に附属する電気設備、空調設備等
その他の有形固定資産	土地、建物以外の有形固定資産
特 定 資 産	施設の拡充等に係る預金等の用途を特定する資産
その他の固定資産	有価証券やソフトウェア、敷金等の形が無い資産
流 動 資 産	資産のうち、1年以内に現金化、費用化できるもの
現 金 預 金	現金及びいつでも引き出すことができる預貯金
その他の流動資産	現金預金以外の流動資産
資 産 の 部 合 計	固定資産と流動資産の合計額
負債の部	
科 目	摘 要
固 定 負 債	長期借入金、長期未払金等の支払期限が1年を超える負債
長 期 借 入 金	返済期限が1年を超える借入金
その他の固定負債	長期借入金以外の固定負債
流 動 負 債	短期借入金、未払金等の支払期限が1年以内である負債
短 期 借 入 金	返済期限が1年以内である借入金
その他の流動負債	短期借入金以外の流動負債
負 債 の 部 合 計	固定負債と流動負債の合計額
純資産の部	
科 目	摘 要
基 本 金	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして組み入れた金額
第 1 号 基 本 金	固定資産に対応する基本金
第 2 号 基 本 金	施設の拡充に対応する基本金
第 3 号 基 本 金	奨学資金に対応する基本金
第 4 号 基 本 金	恒常的な支払資金に対応する基本金
繰 越 収 支 差 額	繰り越される収支差額
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	翌年度に繰り越される収支差額
純 資 産 の 部 計	基本金と繰越収支差額の合計額
科 目	摘 要
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	負債の部と純資産の部の合計額



岩手医科大学

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1

TEL 019-651-5111 (代表)

<http://www.iwate-med.ac.jp/>

発行 令和2年5月25日 岩手医科大学 法人事務部企画調整課